

# まちづくり報告書

## (令和5年度分)

令和6年10月  
企画調整課

- ◆令和6年10月時点で取得できない指標は、空欄又は暫定値となっています。
- ◆「対基準値」「対前年度」「目標達成度」の各マークは、単に指標実績値のみによるのではなく、主管課が総合的に判断し選択している場合があります。

## 政策 01 快適に暮らせるまちづくり

施策 01	安全な水道水の安定供給	1
施策 02	汚水処理の推進	5
施策 03	秩序ある市域の整備	9
施策 04	公共交通の充実	13
施策 05	道路・河川・水路の整備と保全	15

## 政策 02 環境が守られたまちづくり

施策 01	環境保全と脱炭素社会の促進	19
-------	---------------	----

## 政策 03 活気に満ちたまちづくり

施策 01	農業の振興	23
施策 02	地域に活力をもたらす産業・雇用の創出	27
施策 03	観光の振興	31

## 政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 01	子育て支援の充実	35
施策 02	健康づくりの推進	39
施策 03	高齢者福祉の充実	43
施策 04	障害者（児）福祉の充実	47
施策 05	セーフティネットの推進	49
施策 06	地域福祉の推進	51

## 政策 05 豊かな人間性と創造性を育むまちづくり

施策 01	学校教育の充実	53
施策 02	生涯学習・スポーツの推進	59
施策 03	男女共同参画社会の推進	63
施策 04	人権尊重と同和教育の推進	67

## 政策 06 安心して安全に暮らせるまちづくり

施策 01	防災・減災対策の推進	69
施策 02	安全な暮らしの推進	73
施策 03	消防・救急・救助体制の整備充実	77

## 政策 07 持続可能なまちづくり

施策 01	市民協働の推進	81
施策 02	デジタル化の推進	85
施策 03	積極的な広報・広聴の展開	89
施策 04	持続可能な行政経営	91
施策 05	持続可能な財政運営	95
施策 06	市民から信頼される職員・組織づくり	99

**政策 01 快適に暮らせるまちづくり**

**施策 01 安全な水道水の安定供給**

あるべき姿

**施策の成果状況と評価**

指標	上水道普及率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【上下水道課】	80.7	80.6	79.3	84
評価	(状況)減少となった。 (原因)核家族化の推進等により1世帯あたりの人員(人口数/世帯数)の減少に伴い、給水人口が減ったため、上水道普及率としても減となっている。					(対前年度) ☂ (低下)
						目標達成度 ■■■ (低)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 管網の整備

指標	給水戸数（戸）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【上下水道課】	16,631	16,909	16,976	17,119	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度比67戸増である。 (原因) 給水人口は691人減だが、給水戸数は67戸増である。人口に対しての戸数の増が大きいのは、核家族化の進行に伴う1世帯あたりの世帯人員(人口数/世帯数)の減少及び集合住宅の増加が主な原因と考えられる。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (中)

## 基本事業01 管網の整備

指標	管整備延長（m）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【上下水道課】	255,985	258,903	261,784	259,900	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度比2,880m増加した。 (原因) 管整備延長は順調に増加している。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

## 基本事業02 浄水・配水施設の維持管理

指標	浄水・配水施設の維持管理上のトラブル数（件）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【上下水道課】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 施設のトラブルはなかった。 (原因) 良好な維持管理を行い、安定供給ができています。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

## 基本事業02 浄水・配水施設の維持管理

指標	有収率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【上下水道課】	90.81	91.05	91.88	94.4	☁ (横ばい)
評価	(状況) 前年度より若干向上している (原因) 配水管の老朽管更新事業を継続して推進し、漏水事故を未然に防止していく必要がある。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (低)



**基本事業02 浄水・配水施設の維持管理**

指標	水質基準適合率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【上下水道課】	100	100	100	100	☀️ (向上)
評価	(状況) 水質基準適合率は100%である。 (原因) 良好な水質管理ができています。					対 前年度
						☀️ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

**基本事業03 健全な上水道経営の推進**

指標	経常収支比率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【上下水道課】	126.5	108.71	113.79	117	☔️ (低下)
評価	(状況) 前年度比5.08ポイント増である。 (原因) R4は電気機械設備工事で費用が増加していたが、R5は費用減となり、給水収益が改善した。					対 前年度
						☀️ (向上)
						目 標 達成度
						▬▬▬ (高)

**基本事業03 健全な上水道経営の推進**

指標	給水原価（円/m3）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【上下水道課】	141.73	169.64	162.65	173.3以下	☔️ (低下)
評価	(状況) 昨年度比6.99ポイント減である。 (原因) R4は電気機械設備工事で費用が増加していたが、R5は費用減となり、給水原価が改善した。					対 前年度
						☀️ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)



**政策 01 快適に暮らせるまちづくり**

**施策 02 汚水処理の推進**


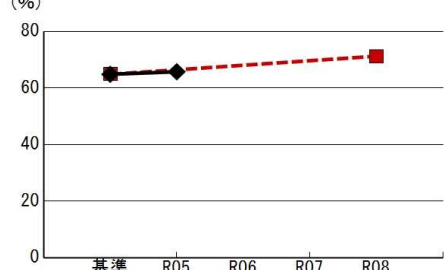


あるべき姿

**施策の成果状況と評価**


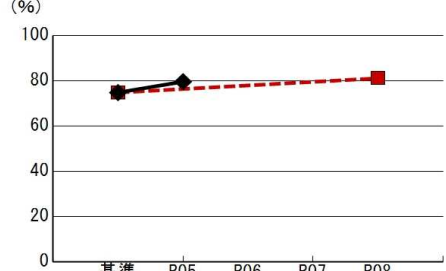


指標	汚水処理人口普及率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【上下水道課】	77.8		79.4	81.8
評価	(状況) 前年度比0.5ポイント増。目標達成率97%。 (原因) 下水道事業は、整備面積の増加に伴い下水道利用人口が296人増加し、また、合併処理浄化槽の設置による合併処理浄化槽使用人口は、179人増加した。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (高)

# 基本事業の成果状況と評価


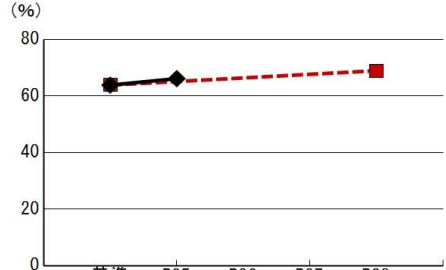


## 基本事業01 公共下水道の整備推進

指標	下水道整備進捗率(%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【上下水道課】	64.8	65.6	65.7	71.2	 (横ばい)
評価	(状況)前年度比0.1ポイント増 (原因)今年度から久富地区の整備に取り掛かり、幹線工事(推進工事)が主となったため、0.6haの整備と例年より少ない整備面積となった。					対前年度
						 (横ばい) 目標達成度  (高)





## 基本事業01 公共下水道の整備推進

指標	下水道接続率(%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【上下水道課】	74.7	78.1	79.5	81.0	 (向上)
評価	(状況)前年度比1.4ポイント増。目標達成率98%。 (原因)処理区域内人口は200 36人増、下水道接続人口は812 296人増となり、処理区域内人口の増分に比べ下水道接続人口の増分が大きかったことで前年度比1.4ポイント増となった。					対前年度
						 (向上) 目標達成度  (高)

## 基本事業02 合併処理浄化槽による汚水処理の推進

指標	下水道供用開始区域外の浄化槽処理人口普及率(%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【上下水道課】	63.8	65.4	66.1	68.9	 (向上)
評価	(状況)前年度比0.7ポイント増 (原因)新築の増加に伴い合併処理浄化槽設置個数も増加し、浄化槽使用人口が増加している。					対前年度
						 (向上) 目標達成度  (高)

## 基本事業03 汚水処理施設の維持管理

指標	下水道施設の維持管理上のトラブル件数(件)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【上下水道課】	0	0	0	0	 (向上)
評価	(状況)維持管理のトラブルは発生していない。 (原因)計画的な維持管理により、トラブルは発生していない。					対前年度
						 (向上) 目標達成度  (達成)

**基本事業04 健全な下水道経営の推進**

指標	経常収支比率 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【上下水道課】	117.9	119.9	122.8	120.3
評価	(状況) 後期基本計画から採用した指標である。前年度比2.9ポイント増。 (原因) 使用料収入や一般会計繰入金の増加により経常収益が4,139万円増加したことが要因。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

**基本事業04 健全な下水道経営の推進**

指標	汚水処理原価 (円/m3)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【上下水道課】	256.2	231.3	238.3	250.4
評価	(状況) 前年度比7円増。 (原因) 流域下水道維持管理負担金・赤字負担金が発生したことにより、汚水処理費が2,732万円増加したことが要因。					対前年度
						☔️ (低下)
						目標達成度
						🏰 (達成)



**政策 01 快適に暮らせるまちづくり**

**施策 03 秩序ある市域の整備**

あるべき姿

**施策の成果状況と評価**

指標	住宅、店舗、工場、公園などが計画的に開発・配置されている（乱開発されていない）と思う市民の割合（％） 【都市対策課】	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
			56.7	53.5	58.4	68.3
評価	(状況) 前年度比4.9ポイント増加し向上した。 (原因) 筑後、松原、水田、水洗校区のポイントが前年度から向上している。宅地造成や周辺の道路整備などの開発が適切に進んでいることが要因と考えられる。	(％) 				対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						▬▬▬ (高)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 計画的な土地利用と市街地整備の充実

指標	全建築申請中に占める都市計画用途地域内の申請割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【都市対策課】	28.4	30.3	26.0	41.0
評価	(状況) 前年度比4.3ポイント減少し低下した。 (原因) 用途地域の周辺に宅地化が進んでいることが要因と考えられる。					対前年度
		☔ (低下)	目標達成度			
						■ ■ ■ (中)

## 基本事業01 計画的な土地利用と市街地整備の充実

指標	都市計画用途地域内農地率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【都市対策課】	15.7	15.2	14.2	15.0
評価	(状況) 前年度比1.0ポイント減少し向上した。 (原因) 目標を達成した。 用途地域内の土地において都市的利用の鈍化、都市化が飽和に近づいている。					対前年度
		☀ (向上)	目標達成度			
						🏰 (達成)

## 基本事業02 公園の整備・維持管理

指標	市民1人当たり公園面積（㎡/人）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【都市対策課】	16.3	16.3	16.3	27.0
評価	(状況) R4と変化が無い。 (原因) R4からR5にかけて、新規の公園整備は行われていない。					対前年度
		☁ (横ばい)	目標達成度			
						■ ■ ■ (中)

## 基本事業02 公園の整備・維持管理

指標	公園の量・施設に満足している市民の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【都市対策課】	83.3	84.4	86.5	85.0
評価	(状況) R4の84.4％から2.1ポイント増加し、86.5％となった。 (原因) 公園長寿命化計画に基づく遊具の更新や、公園遊具危険度判定の結果に基づく、施設の修繕に取り組んだ結果だと考えられる。					対前年度
		☀ (向上)	目標達成度			
						🏰 (達成)



**基本事業02 公園の整備・維持管理**

指標	公園遊戯施設の機能に関する総合判定結果が健全である割合(%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値															
		【都市対策課】	25.4	29.3	48.3	48.0	☀ (向上)														
評価	(状況) R4の29.3%から19ポイント増加し、48.3%となった。 (原因) 公園長寿命化計画に基づく施設の更新や公園遊具危険度判定の結果を踏まえ、施設の修繕を行った結果である。	<table border="1"> <caption>実績値と目標値の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準 (R03)</td> <td>25.4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R04 (R05)</td> <td>29.3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>48.3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R08</td> <td>-</td> <td>48.0</td> </tr> </tbody> </table>				年度	実績値 (%)	目標値 (%)	基準 (R03)	25.4	-	R04 (R05)	29.3	-	R05	48.3	-	R08	-	48.0	対 前年度
						年度	実績値 (%)	目標値 (%)													
基準 (R03)	25.4	-																			
R04 (R05)	29.3	-																			
R05	48.3	-																			
R08	-	48.0																			
						☀ (向上)															
						目 標 達 成 度															
						■ ■ ■ (高)															



政策 01 快適に暮らせるまちづくり

施策 04 公共交通の充実

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	鉄道に満足している市民の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【都市対策課】	80.0	67.8	69.4	83.4
評価	(状況) 前年度比1.6ポイント増加し向上した。 (原因) コロナ禍が収束し駅利用者も増加しているが、R4.9月のJR九州による大幅なダイヤ改正に合わせた行動様式をとっているものと考えられる。 (市民アンケートはR6.2月に実施)					☀ (向上)
		目標達成度	■ (低)			

指標	路線バス、タクシー、コミュニティ自動車に満足している市民の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【都市対策課】	74.9	64.4	68.7	67.2
評価	(状況) 前年度比4.3ポイント増加し向上した。 (原因) 筑後北校区のコミュニティ自動車の新規運行や運転免許証自主返納支援制度(タクシー利用券・ICカード)などの実施により向上したものと考えられる。					☀ (向上)
		目標達成度	🏰 (達成)			

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 鉄道利用環境の充実

指標	JR在来線3駅の1日乗降客数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【都市対策課】	6,454	7,176	7,176	6,510	
評価	(状況) (原因) R5の実績値は、例年8月下旬にJR九州より発表されるため、現時点では未取得 取得後の評価とする。 (実績値はシステム上、前年度数値を一旦入力)					対 前年度
						(比較不可)
						目 標 達 成 度
						■■■ (高)

## 基本事業01 鉄道利用環境の充実

指標	JR新幹線筑後船小屋駅の1日乗降客数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【都市対策課】	794	966	966	1,069	
評価	(状況) (原因) R5の実績値は、例年8月下旬にJR九州より発表されるため、現時点では未取得 取得後の評価とする。 (実績値はシステム上、前年度数値を一旦入力)					対 前年度
						(比較不可)
						目 標 達 成 度
						■■ (中)

## 基本事業02 生活交通の充実

指標	市内移動の交通手段に困っている市民の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【都市対策課】	13.6	19.2	15.5	16.5	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度比3.7ポイント減少し向上した。 (原因) 筑後北校区のコミュニティ自動車の新規運行や運転免許証自主 返納支援制度（タクシー利用券・ICカード）などの実施により 向上したものと考えられる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

## 基本事業02 生活交通の充実

指標	市内を運行する路線バス及びコミュニティ自動車の路線数（本）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【都市対策課】	19	19	21	23	☀ (向上)
評価	(状況) 路線バスは現状維持。コミュニティ自動車は筑後北校区がR5か ら運行を開始（路線バス6本、コミュニティ自動車15本） (原因) R5年度より筑後北校区のコミュニティ自動車が運行を開始し た。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						■■■ (高)

政策 01 快適に暮らせるまちづくり

施策 05 道路・河川・水路の整備と保全

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	幹線道路に満足している市民の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【道路課】	83.5	82.9	82.6	83.5	☂ (低下)
評価	（状況）前年度82.9%から0.3ポイント減となり低下した。 （原因）昨年同様に国道209号で歩道拡幅や交差点改良がなかなか進んでいない状況のため、歩行者の安全性や渋滞の軽減がされていないことで満足度が向上しないと考えられる。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						▬▬ (高)

指標	生活道路に満足している市民の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【道路課】	74.6	71.3	72.4	74.6	☂ (低下)
評価	（状況）前年度71.3%から1.1ポイント増加したが目標値は達成できなかった。 （原因）目標値は達成できなかったが、直営班での道路パトロールによる穴埋めなどの早期対応や側溝新設による雨水排水対策を実施したことにより昨年度より指標が向上したと考えられる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						▬▬ (高)

指標	河川・水路に満足している市民の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【水路課】	77.3	82.1	78.9	80.0	☁ (横ばい)
評価	（状況）前年度82.1%から3.2ポイント減となり、低下した。 （原因）記録的な大雨や局地的、短時間の豪雨が頻発する傾向にある中で、更なる治水機能の向上や施設の機能保全が求められていることから、満足度が低下したものと考えられる。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						▬▬ (高)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 幹線道路の整備促進

指標	幹線道路整備延長 累計 (km)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【道路課】	6.1	7.4	9.6	11.1
評価	(状況) 前年度1.3kmから0.9km増加の2.2kmとなり向上した。年間1.0kmの目標を達成し、実績値9.6kmとなった。					対前年度
	(原因) 県事業の大規模なバイパス整備が完了し、その他の路線の整備も進んだため目標値を達成した。					☀️ (向上)
						目標達成度
						☐☐☐ (高)

## 基本事業02 生活道路の整備推進と維持管理

指標	生活道路改良・補修延長 累計 (km)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【道路課】	42.6	53.4	63.0	77.6
評価	(状況) 前年度10.8kmから1.2km減少の9.6kmとなり低下した。年間7.0kmの目標を達成し、実績値63.0kmとなった。					対前年度
	(原因) 年間の整備目標は達成したが、前年度より整備延長が低下した理由は、規模の大きな工事を令和5年度へ繰越したことにより低下した。					☔️ (低下)
						目標達成度
						☐☐☐ (高)

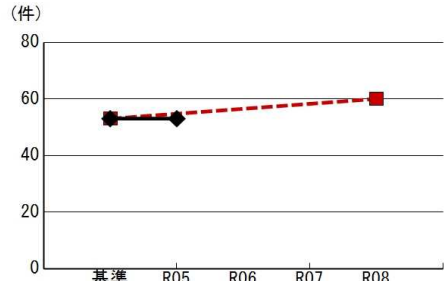

## 基本事業03 河川・水路の整備推進と維持管理

指標	河川・水路などの機能整備要望への対応率 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【水路課】	75.3	78.5	79.8	75.0
評価	(状況) 前年度から1.3ポイント向上し、目標値を達成した。					対前年度
	(原因) 緊急浚渫推進事業や治水対策事業を実施するなど、増加する地域の要望に多く応えた効果もあり、対応率の向上に繋がった。					☀️ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

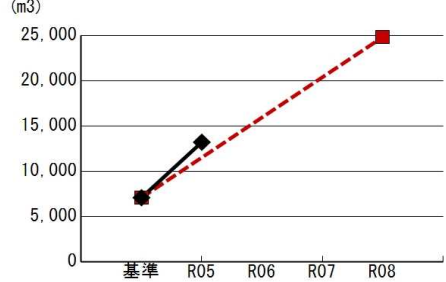


## 基本事業03 河川・水路の整備推進と維持管理

指標	浸水・冠水件数 (件)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【水路課】	4	0	54	0
評価	(状況) 前年度の0件に対してR5年度は54件となった。					対前年度
	(原因) 前年度は、特別警報級の豪雨が発生しなかったが、本年度は災害に至る大雨が発生したため。					☔️ (低下)
						目標達成度
						☐☐☐ (低)

**基本事業03 河川・水路の整備推進と維持管理**

指標	河川・水路等の工事件数（件）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【水路課】	53	53	53	60
評価	(状況) 令和4年度と同数となった。 (原因) 目標値60件を達成するため、各事業において年次計画により施工しているが、前年度並みとなった。					対 前年度
						目標 達成度
						 (高)

**基本事業03 河川・水路の整備推進と維持管理**

指標	河川・水路等の浚渫土量<累計>（m3）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【水路課】	7,066	10,057	13,193	24,800
評価	(状況) 本年度量3136m3、累計で13193m3となった。 (原因) 緊急浚渫推進事業等により計画的に進めている。					対 前年度
						目標 達成度
						 (向上)  (中)





政策 02 環境が守られたまちづくり

施策 01 環境保全と脱炭素社会の促進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	市民1日1人当たりの家庭系ごみの排出量(資源除く)(g)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【かんきょう課】	493.5	488.8	473.2	472.0
評価	(状況) 昨年度より、15.6g減少(3.2%) (原因) 可燃 8,194,440kg(3.6%)。減少量上位3月: 3月 10.3%、12月 6.9%、8月 8.0%。物価高騰の影響により、消費支出が減少していることの影響が考えられる。(R4年4月~R5年3月: 対前年同月 0.5%~4.4%の間で推移)					対 前年度
						☀️ (向上)
						目 標 達 成 度
						▬▬ (高)

指標	生活環境に関する苦情解決率(過去3年平均)(%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【かんきょう課】	93.6	89.0	81.3	95.0
評価	(状況) R03 98件/109件 89.9% R04 93件/113件 83.0% R05 55件/83件 66.3% 計 246件/304件 80.9% (原因) 雑草苦情の解決率が低下している。 R3: 66.7%、R4: 72.4%、R5: 57.5%。					対 前年度
						☔️ (低下)
						目 標 達 成 度
						▬▬ (低)

指標	脱炭素社会のための環境にやさしい取組を行っている市民の割合(%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【かんきょう課】	34.2		37.2	40.0
評価	(状況) 192人/516人 = 37.2% 昨年度より2.0%低下 (原因) 割合が低下した上位3項目: .冷房28%、暖房20%に設定(5.8%)、待機電力の削減を意識し、コンセントを抜いたり、主電源を切ったりしている(5.1%)、照明やテレビの電源をこまめに切る節電(5.0%)					対 前年度
						☔️ (低下)
						目 標 達 成 度
						▬▬ (中)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

指標	減量化に関する実践項目数(7項目中)(項目)	基準値(R03)	実績値(R04)	実績値(R05)	目標値(R08)	対基準値
	【かんきょう課】	2.9	2.8	2.7	3.5	(横ばい)
評価	(状況) 1408項目/516 = 2.7 (原因) 「料理の食べ残しをしない(そのように注文・調理する)」の割合が低下( 3.8%)					対前年度
						(横ばい)
						目標達成度
						(高)

## 基本事業01 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

指標	リユースを意識して行動している市民の割合(%)	基準値(R03)	実績値(R04)	実績値(R05)	目標値(R08)	対基準値
	【かんきょう課】	32.4	35.85	30.81	42.0	(低下)
評価	(状況) 159人/516人 = 30.81% (原因) 全項目で低下。割合が低下した上位3項目：リサイクルショップの利用(買取も含む) 4.24%、中古品等オークション(メルカリ等)の 4.06%、その他で中古品の購入、又は売却 2.32%					対前年度
						(低下)
						目標達成度
						(低)

## 基本事業01 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

指標	資源化(リサイクル)率(%)	基準値(R03)	実績値(R04)	実績値(R05)	目標値(R08)	対基準値
	【かんきょう課】	12.24	11.92	12.1	12.7	(低下)
評価	(状況) 改善している (原因) 可燃ごみ等総ごみ量減少により昨年度より資源化率は向上しているが、資源ごみ量は昨年度より約3t減少している。古布の収集中止に加え、缶・ペットボトル・古紙等が民間事業者による回収ボックスへ排出されており実態把握が困難となっている。					対前年度
						(向上)
						目標達成度
						(低)

## 基本事業02 脱炭素社会の促進

指標	脱炭素社会のため実効性の高い環境負荷低減に取り組んでいる事業者の割合(%)	基準値(R03)	実績値(R04)	実績値(R05)	目標値(R08)	対基準値
	【かんきょう課】	-		35.6	45.0	(横ばい)
評価	(状況) 35.6% 昨年度より6.4%低下 (原因) 割合が低下した上位3項目：省エネを考慮した冷暖房温度(冷房28、暖房20)の設定( 23.0%)、ごみの出にくい製品の供給( 15.3%)、他社製品も含む修理の相談の受付( 15.2%)					対前年度
						(低下)
						目標達成度
						(低)

**基本事業03 生活環境の改善**

指標	空地に関する苦情解決率（過去3年平均）（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【かんきょう課】	85.8	76.0	66.4	85.8
評価	(状況)R03 20件 / 30件 66.7% R04 42件 / 58件 72.4% R05 23件 / 40件 57.5% 計 85件 / 128件 66.4%					対 前年度
	(原因)R5年度の解決率が低下。通知文書送付後も放置される場合が多い。					☔ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (低)

**基本事業03 生活環境の改善**

指標	ペット、野焼き、騒音、悪臭等に関する苦情件数（件）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【かんきょう課】	93	55	44	80
評価	(状況) ペット 6件 悪臭 3件 野焼き 18件 水質 6件 騒音 4件 その他 7件 合計 44件					対 前年度
	(原因)野焼きの通報件数が減少した。具体的な要因は不明。稲わらの適正処理の推進が取り組まれることから更なる減少の可能性あり。					☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

**基本事業03 生活環境の改善**

指標	一般廃棄物が不法投棄されている場所の数（箇所）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【かんきょう課】	23	22	30	21
評価	(状況) 25%増 (原因) 上位3種：タイヤ：10件、盗難含む自転車：8件、廃家電：7件。周知や防犯により改善が見込まれるものが多い。					対 前年度
						☔ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (中)



政策 03 活気に満ちたまちづくり

施策 01 農業の振興

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	農業所得者の総所得金額（億円）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【農政課】	9.4	10.7	8.8	9.0
評価	(状況) 令和4年分の総所得金額が前年と比較して2億円程度減少している。 (原因) 市内農産物販売額が令和3年と4年を比較して微増となっていることから、コロナ禍における経営継続補助金等の廃止及び、肥料・飼料・資材等の高騰に伴う所得金額の減少と思われる。	(億円) 				対 前年度

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 施設園芸等農業の展開

指標	園芸、特産作物の栽培面積 (ha)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【農政課】	190.1	187.5	183.3	190.0	☔ (低下)
評価	(状況) 前年比で2.2% (4.2ha) 減少している。 (原因) 花き・ブドウの栽培面積減少が主な原因である。新規就農もありナスのみ栽培面積が増加したが、全体としては高齢離農もあり減少傾向となっている。					対前年度
						☔ (低下)
						目標達成度
						■ (低)

## 基本事業01 施設園芸等農業の展開

指標	園芸、特産作物の販売額 (億円)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【農政課】	23,715	239.3	239.7	250.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年比0.17% (4千万) 程度販売額が増加。 (原因) コロナの5類移行後も、果樹販売が堅調であり、全体としても前年を上回る販売額となっている。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						■ (高)

## 基本事業02 生産体制の維持

指標	担い手が経営している市内農地の集積率 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【農政課】	74.6	75.2	76.0	74.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年比0.8% (約1.0ha) 増加している。 (原因) 認定新規就農者から認定農業者への移行を要因に認定農業者が増加したこと、さらに認定農業者(農事組合法人含む)への農地集積が進展したことにより集積率が増加したものの。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

## 基本事業02 生産体制の維持

指標	新規就農者数 累計 (人)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【農政課】	27	35	44	52	☀ (向上)
評価	(状況) 令和5年度9人の新規就農者を確保できた。 (原因) JA就農支援センター及び先進農家の協力など就農希望者を入れる体制が確立されている。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						■ (高)

基本事業03 農用地と営農環境の保全

指標	遊休農地面積 ( ha )	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【   】	15.1	14.7	14.4	14.6
評価	(状況) R4の14.71haより減少した。 (原因) 遊休農地の転用による減少、営農再開や適正管理による減少分が、新規発生面積分を上回ったため。 ・ 解消面積：11,122㎡ ・ 新規発生面積：7,697㎡ 差し引き3,425㎡の解消	(ha) 				対前年度
						☀ (向上)
						🏰 (達成)





政策 03 活気に満ちたまちづくり

施策 02 地域に活力をもたらす産業・雇用の創出

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	市内事業所数（事業所）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【商工観光課】	2,873	2,922	3,292	2,880
評価	(状況) 昨年まで微増だったが、法人均等割納税義務者の法人が17社、小規模個人事業者が32事業者増となった。 (原因) 停滞していた動向が、中小企業の売上高は感染症流行前の水準に戻り、国内投資額が増加に転じるなど、拡大、回復に転じてきている。	(事業所) 				対 前年度
		☀ (向上)	目 標 達 成 度	☀ (達成)		

指標	市内従業員数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【商工観光課】	16,856	16,853	17,139	17,000
評価	(状況) 前年度より向上し、目標値も達成となった。 (原因) 県南部地域の有効求人倍率はR6.3月時点で1.28となっている。R5.10最低賃金上昇により求人数は一時減少したものの、回復を見せており併せて求職者数も増加した。事業所数は370社増加し、従業員数も286人増加した。	(人) 				対 前年度
		☀ (向上)	目 標 達 成 度	☀ (達成)		

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 企業誘致・留置の推進

指標	企業誘致件数 累計 (事業所)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【商工観光課】	1	4	5	4	☀️ (向上)
評価	(状況) 企業誘致件数は目標値がR2～R5累計となっており、R5は1件であり累計で5件。 (原因) 物価上昇等の影響もあり目標値に達しなかったと考えられるが、帝国データバンクによると、原材料の高止まりや人手不足、個人消費の低迷などリスクもあり、今後の設備投資動向への影響が懸念されるとある					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						■ (中)

## 基本事業01 企業誘致・留置の推進

指標	資本金1億円を超える事業所数 (事業所)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【商工観光課】	140	130	136	140	☔️ (低下)
評価	(状況) 事業所数はほぼ横ばい状態にある。 (原因) 新型コロナウイルスが5類感染症に変更になり、資材不足が解消したことなどにより、経済活動が元に戻ってきたことで微増となったと考えられる。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						■ (高)

## 基本事業02 事業所の経営安定化と市内購買力強化

指標	黒字化している事業所割合(法人税割を納めている事業所の割合) (%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【商工観光課】	41.6	44.9	45.0	46.6	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 前年度より向上はしているが、目標値までは達成できていない。 (原因) 新型コロナ5類移行後、個人消費や生産については持ち直しているが、原材料費等高騰下における価格転嫁は緩やかで、人件費や設備投資などは中小企業者の負担となっていると考えられる。					対前年度
						☁️ (横ばい)
						目標達成度
						■ (高)

## 基本事業02 事業所の経営安定化と市内購買力強化

指標	日用品を市内で買っている市民の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【商工観光課】	80.1	80.5	81.8	83.2	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 昨年度と状況は変わらず、市内で購入している人は9割と多いが、地元商店街では1割ほどに留まっている。 (原因) 価格や品ぞろえ、営業時間などで有利なスーパーマーケットに加え、ドラッグストアも増加したことから、このような傾向が続くと思われる。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						■ (高)

**基本事業03 創業・事業開発への支援**

指標	創業・新規事業進出件数 累計 (件)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【商工観光課】	20	41	56	40
評価	(状況) (原因)					対前年度 (横ばい)
						目標達成度 (達成)

**基本事業04 雇用の安定と確保**

指標	合同会社説明会・面談会来場者数 (人)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【商工観光課】	-	58	59	100
評価	(状況) 昨年度に引き続き、自治体合同会社説明会を実施した。また労働者支援事務所と共催で労働相談会を開催した。 (原因) 企業からの求人は一定数あるものの、求職者とアンマッチにより来場者数は基準値には達したが目標値には届かなかった。今後もさらに企業の人材不足は進むと思われる。					対前年度 (横ばい)
						目標達成度 (低)



政策 03 活気に満ちたまちづくり

施策 03 観光の振興

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	観光入込客数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【商工観光課】	521,000	742	836	1,080,000
評価	(状況) 昨年度より増加したものの、目標値までには達していない。 (原因) コロナで中止していた行事、イベントの再開などにより前年度より増加したが、コロナ禍前までの観光入込客数まで回復するには時間を要すると思われる。	(人) 				対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (中)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 観光情報の発信

指標	観光プロモーションによるメディア露出件数（件）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【商工観光課】	372	266	371	400	(横ばい)
評価	(状況) 前年度より105件増加した (原因) 令和5年度は、コロナが落ち着き、イベントが再開され、メディアに取り上げられる機会が増えたことが、件数増の主な要因と思われる。					対前年度
						(向上)
						目標達成度
						(中)

## 基本事業01 観光情報の発信

指標	観光意欲度の県内順位（位）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【商工観光課】	10	14		10	(---)
評価						対前年度
						(---)
						目標達成度
						(---)

## 基本事業02 魅力ある観光事業の推進

指標	市内観光イベントの来場者数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【商工観光課】	9	330	555	89,000	(比較不可)
評価	(状況) コロナの影響や時間の経過により、イベントの再編が必要とされており、今後のイベントのあり方等を再考する必要がある。					対前年度
						(比較不可)
						目標達成度
						(中)

## 基本事業03 ファーム本拠地と筑後船小屋駅を核とした広域連携による観光推進

指標	HAWKSベースボールパーク筑後の平均観戦者数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【商工観光課】	1,192	1,519	1,620	2,200	(低下)
評価	(状況) 目標値に対する達成率は前年から少し回復した。(R4: 69.05% R5: 73.64%) (原因) 5月に新型コロナウイルス感染症の取り扱いが5類に移行したことが大きい。球場でのイベントなどを従来通り実施できたこと、シーズン後半に週末連戦が多く企画されたこと等が動員の伸びに繋がっている					対前年度
						(向上)
						目標達成度
						(中)

基本事業03 ファーム本拠地と筑後船小屋駅を核とした広域連携による観光推進

指標	筑後船小屋駅周辺施設の入込客数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【商工観光課】	3,761	5,155		665,000
評価						対 前年度
						(---)
						目 標 達 成 度
						(---)





政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 01 子育て支援の充実

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	子育てしやすい環境が整っていると思う保護者の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【児童・保育課】	77.5	68.2	70.7	80.0
評価	(状況) 前年度より2.5ポイント上昇し、70%を上回った。 (原因) 子育て世帯への支援策として様々な取組を行っており、一定の環境は整っていると思われるが、先進自治体等との比較において、劣ると感じる層も存在している。					対前年度
		☀ (向上)				
						目標達成度
						☐☐☐ (中)

指標	この地域で子育てをしたいと感じる乳幼児の保護者の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【こども家庭サポートセンター】	96.1	95.5	96.4	97.0
評価	(状況) 前年比0.9ポイント上昇し高い水準で推移していると評価する。 (原因) 待機児童の解消や近くに広域公園があることや大きな災害がないこと、公共交通機関の整備等不便さを感じない生活環境なども影響していると考え。					対前年度
		☀ (向上)				
						目標達成度
						☐☐☐ (高)

指標	年間出生数 (人)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【企画調整課】	431	385	360	400
評価	(状況) 2年連続で400人を割り込み、過去最低を更新した (R4: 385人、R5: 360人) (原因) 全国的な傾向。新型コロナウイルス感染拡大、婚姻数の減少、晩婚化、晩産化合計特殊出生率の低下					対前年度
		☂ (低下)				
						目標達成度
						☐☐☐ (中)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 子どもの人権の尊重

指標	児童虐待件数 新規実人数 (件)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【こども家庭サポートセンター】	5	11	11	-
評価	(状況) 児童相談所に一時保護されたり、施設入所となった児童は前年比と変わらず11人となった。世帯数は9帯であった。 (原因) 子ども本人からの申し出や家出等のケースもあった。					(対前年度)
						(比較不可)
						目標達成度
						■ ■ ■ (中)

## 基本事業02 保育サービスの充実・子どもの居場所づくり

指標	保育所等の待機児童数(人)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【児童・保育課】	0	0	0	0
評価	(状況) 待機児童ゼロを維持した。 (原因) 私的待機(自己都合)はあるものの、受入枠の確保はできている。					(対前年度)
						(向上)
						目標達成度
						■ ■ ■ (達成)

## 基本事業02 保育サービスの充実・子どもの居場所づくり

指標	学童保育所の待機児童数(人)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【児童・保育課】	0	0	14	0
評価	(状況) 14名の待機児童が発生した。 (原因) 羽犬塚学童保育所、筑後学童保育所をそれぞれ1支援単位増やしたが、想定以上の利用申込があったため。					(対前年度)
						(低下)
						目標達成度
						■ ■ ■ (中)

## 基本事業02 保育サービスの充実・子どもの居場所づくり

指標	私立保育所等の障害児受入れ数(人)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【児童・保育課】	4	19	28	24
評価	(状況) 障害を持つ児童を28名受け入れることができた。 (原因) 令和4年度から令和5年度にかけて対象児童の見直しや補助の拡大を行い、より多くの施設に対し支援を行った。					(対前年度)
						(向上)
						目標達成度
						■ ■ ■ (達成)

**基本事業03 切れ目ない支援による子育て不安の軽減**

指標	子どもの発達過程を知っている保護者の割合（％） 【こども家庭サポートセンター】	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		88.23	89.03	90.6	93.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度より1.6ポイント上昇し順調と評価する。 (原因) 乳幼児健診や乳児訪問の際、個別に心配や疑問に答えたり、発達段階の特徴や接し方を伝えている。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (中)

**基本事業03 切れ目ない支援による子育て不安の軽減**

指標	育てにくさを感じた時に対処できる保護者の割合（％） 【こども家庭サポートセンター】	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		90.4	89.27	83.9	91.0	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度より約5.4ポイント低下。育てにくいと回答した件数は減少しているものの、相談先を知っている件数も減少している状況である。 (原因) 相談先の周知ができていないことが考えられる。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (中)

**基本事業03 切れ目ない支援による子育て不安の軽減**

指標	保護者1人当たりの、子育てについて相談できる相手、または相談できる機関の数（配偶者や親族を除く）（人（機関）） 【こども家庭サポートセンター】	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		1.39	1.41	1.39	1.7	☁ (横ばい)
評価	(状況) 0.02ポイント減、ほぼ横ばい。 (原因) コロナ禍の間のコミュニケーション不足の影響が尾を引いていると考える。今後どの程度回復するのかを見ながら必要に応じた対策を検討する。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (低)

**基本事業04 子どもの健やかな成長の支援**

指標	低出生体重児の出生率（％） 【こども家庭サポートセンター】	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		8.9	10.2	11.3	9.0	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度比1.1ポイント上昇した。 (原因) 多胎児が4組、母親のやせ、妊娠高血圧症候群等、低出生体重児の出生に関与するリスクのある者が一定数あったことが増加の要因だと考える。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (低)

**基本事業04 子どもの健やかな成長の支援**

指標	乳幼児健診で要精密検査となった者の受診率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【こども家庭サポートセンター】	88.0	81.3	78.9	90.0	☂ (低下)
評価	(状況) 2.4ポイント減少した。未受診者の8名中7名が3歳児健診での屈折検査で要精検となった者である。 (原因) 眼科での予約が取りにくいこと、保護者が就労し時間が作れないこと、精密検査の必要性の認識が低いこと等考えられる。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (低)

**基本事業05 家族形成の支援**

指標	若年層有配偶者率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【企画調整課】	51.0	50.3	50.1	51.0	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度から0.2ポイント低下している。(R4 : 50.3、R5 : 50.1) (原因) 全国的な傾向。新型コロナウイルス感染拡大、婚姻率の低下、晩婚化、晩産化合計特殊出生率の低下					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (中)

**基本事業06 ひとり親家庭等の自立支援の推進**

指標	ひとり親家庭等の自立支援推進事業の利用者数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【こども家庭サポートセンター】	7	3	3	12	(比較不可)
評価	(状況) 前年度から継続2件新規1件となった。 (原因) 翌年度に向けての相談は受けている状況であるが、検討したが仕事と修業の両立が困難など受講開始まで至らなかったケースもある。					対 前年度
						(比較不可)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (中)

政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 02 健康づくりの推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	15歳から64歳までの死亡者数（人口10万人当たり） （人）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【健康づくり課】	154.8	154.4	140.8	129.4
評価	(状況) 死亡者数は前年より減少し40人、減少傾向にある。40代が増加した一方、50代は減少した。R4年以前の比較となるが、国平均より低い値で推移。(参考 国R4 176.2 R3 169.6 R2 168.5) 国は暦年 (原因) コロナの影響が減少したためか、呼吸器疾患は減少。自殺は40代で増加。	(人) 				対 前年度
		☀️ (向上)	目 標 達成度	■■■ (高)		

指標	75歳未満の三大死因の死亡者数（人口10万人当たり）（人）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【健康づくり課】	165.4	156.7	155.6	150.0
評価	(状況) 前年と死亡者数は同数で65人。国より低い値で推移している。(参考 国R4 : 193.0、R3 : 190.6) (原因) がん+11人、脳血管疾患 10人、心臓疾患が 1人。がんによる死亡者数が増加に転じている。肺がん、乳がんや肝臓がんの増加が顕著である。	(人) 				対 前年度
		☁️ (横ばい)	目 標 達成度	■■■ (中)		

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 生活習慣の改善

指標	1人当たりの健康づくり取組項目数(11項目中)(項目)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【健康づくり課】	4.1	4.0	3.9	5.8
評価	(状況)数値は若干低下。適正体重、睡眠、飲酒、禁煙への取組は高い割合にある一方で、間食を控える、週2日30分以上運動をする者の割合が2割と低い。 (原因)コロナが5類に移行し、徐々に活動の再開が見られるものの、with、アフターコロナの生活環境が起因しているのではないかと考える。					対前年度
						☂ (低下)
						目標達成度 ■■■ (低)

## 基本事業01 生活習慣の改善

指標	糖尿病性腎症における新規透析導入者数(人口10万人当たり)(人)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【健康づくり課】	12.21	8.13	16.27	11.0
評価	(状況)新規透析導入者(実人数)は8人と昨年度までと比較し大幅に増加した。新規導入者のうち40代、50代が4人を占める。 (原因)この透析導入は生活習慣の積み重ねの結果であり、単年度での評価は難しい。ただし、中年世代の増加が顕著で、発症予防への取組の重要性を認識するところである。					対前年度
						☂ (低下)
						目標達成度 ■■■ (低)

## 基本事業02 病気の早期発見・早期治療の推進

指標	特定健康診査受診率(%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【健康づくり課】	38.3	40.1	39.5	60.0
評価	(状況)特定健診受診率は昨年度を若干下回る値で推移している。(R6.10月確定) (原因)対象者数が減る中で、集団検診は前年度並みの受診者数ながら、施設検診の受診者数が減少。周知の遅れで健診開始時期の受診者が少なかったことも一因。確定値は前年度と同じ又はを若干下回る見込み。					対前年度
						☁ (横ばい)
						目標達成度 ■■■ (低)

## 基本事業02 病気の早期発見・早期治療の推進

指標	1年に1回がん検診を受けている市民の割合(%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【健康づくり課】	37.5	38.7	39.7	50.0
評価	(状況)市民アンケートでは昨年より1.0p向上している。 (原因)男女別で見ると、前年度に比べ男性が2.6p向上、女性は0.4p向上と、男性が大きく向上している。年代別では20~39歳が6.1p減少しているものの、40歳以上はすべての年代で前年度より向上している。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度 ■■■ (中)

**基本事業03 こころの健康づくりの推進**

指標	自殺者数（人口10万人当たり）（人）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【健康づくり課】	8.1	14.2	14.2	10.0	☔ (低下)
評価	（状況）自殺者数は、昨年の7人から変わらず、自殺死亡率は14.2と横ばいである。国17.3（-0.2）、県18.6（+1.5）を下回っている。 （原因）昨年に比べ、10代：1人、20代：3人と若年の自殺者が増加している。全国的にも、20歳未満の自殺者数は前年度よりも増加している。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						■ (低)

**基本事業04 地域医療連携の推進**

指標	紹介率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【健康づくり課】	65.6	74.0	71.2	50.0以上	☀ (向上)
評価	（状況）前年度から2.8P減少。総患者数は72,161人で、昨年度のもの83,423人から約1万人減少。 （原因）分母となる総患者数の減少により、紹介の割合が相対的に高くなっている。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

**基本事業04 地域医療連携の推進**

指標	逆紹介率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【健康づくり課】	70.6	54.5	90.7	70.0以上	☀ (向上)
評価	（状況）36.2P上昇し、目標値を大きく超えた。総患者数は72,161人で、前年度の83,423人から約1万人減少。また、コロナによる入院患者が減少した。 （原因）昨年度までは逆紹介できないコロナによる入院患者の抑制要因の減少に加え、総患者数の減少に伴い、相対的に割合が高くなったと言える。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

**基本事業05 国民健康保険財政の持続運用**

指標	国民健康保険1人当たり医療費 <年額>（円）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【市民課】	443,447	433,060	438,646		☀ (向上)
評価	基準値（R3）443,447円より減少し、対前年度でも同等程度で推移している。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						(---)



**基本事業06 感染症対策の推進**

指標	感染対策を実施している市民の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【健康づくり課】	-		93.3	80.0
評価	（状況）新型コロナウイルスの感染は大幅に減少しているが、 いまだ感染の状況がある。 基本的な感染対策の意識は高い。 （原因）5類移行後も市内でも感染者がいる中で、with、アフ ターコロナの生活環境にあり、感染症への恐れ、備えの意識は 一定維持されていると考えられる。	(％) 				(比較不可)
						対 前年度
						(比較不可)
						目 標 達成度
						(達成)



政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 03 高齢者福祉の充実

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	要介護等認定を受けていない65～74歳の市民の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【高齢者支援課】	96.7	96.5	96.5	97.0	☂ (低下)
評価	(状況) 昨年度と同じポイントで横ばい。基準値と比較し、0.2ポイント低く、目標値を0.5ポイント下回った。 (原因) 65歳から74歳のうち、要支援の認定者の割合は低下したが、要介護以上の認定者割合が増加した。					対前年度
						☁ (横ばい)
						目標達成度
						■ (低)

指標	要介護等認定を受けていない75～84歳の市民の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【高齢者支援課】	84.5	85.0	85.3	85.0	☀ (向上)
評価	(状況) 昨年度より0.3ポイント向上、基準値と比較し、0.8ポイント高くなった。目標値を0.3ポイント上回った。 (原因) 75歳から84歳の被保険者数の増と比較し、認定者数の伸びが少なく、昨年度に引き続き認定率は低くなっている。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

指標	生きがいを持っている高齢者の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【高齢者支援課】	81.3	79.7	84.9	84.0	☀ (向上)
評価	(状況) 昨年度より5.2ポイント向上、基準値と比較し、3.6ポイント高くなった。目標値を0.9ポイント上回った。 (原因) 前期高齢者は前年度より4.0ポイント向上の83.2%、後期高齢者は前年度より7.4ポイント向上の87.7%と後期高齢者の数値が大きく向上している。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 生きがいきくりと介護予防の推進

指標	新規認定者の平均年齢 (歳)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【高齢者支援課】	82.4	82.2	82.2	83.0
評価	(状況) 昨年度と同様82.2歳となり、基準値より0.2ポイント低下、目標値を0.8ポイント下回った。 (原因) 新規認定者のうち70歳代、80歳代が若干増加したが、90歳代の割合が大幅に減った。					対前年度 (横ばい)
						目標達成度 (低)

## 基本事業01 生きがいきくりと介護予防の推進

指標	65歳以上の要介護等認定者の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【高齢者支援課】	16.8	17.2	17.1	16.9
評価	(状況) 昨年度比0.2ポイント改善、基準値より0.2ポイント高く目標値との差も0.2ポイント。 (原因) 65歳以上被保険者数は114人(0.1%)増に対し認定者数増加は1人と、高齢者数の増加率を認定者数の増加率が下回った。85歳以上の比較的重度者(要介護)の認定者が増加している。					対前年度 (向上)
						目標達成度 (低)

## 基本事業02 相談体制の充実と権利擁護

指標	相談先がある高齢者の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【地域包括支援センター】	82.7	89.3	82.4	86.0
評価	(状況) 前年度から 6.9ポイント、基準値から 0.3ポイント。 (原因) 相談先がない人は、65~74歳で20.3%、75歳以上で13.8%であり、前期高齢者で相談先がない人の割合が高い。高齢者のみ世帯が増加していることも一因と考えられる。					対前年度 (低下)
						目標達成度 (低)

## 基本事業02 相談体制の充実と権利擁護

指標	高齢者の権利が損なわれた件数(虐待・権利)(件)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【地域包括支援センター】	11	8	10	-
評価	(状況) 虐待認定件数は前年度より2件増加。相談件数は3件増加し14件。 R6.3に公表された全国調査(R4年度分)では高齢者人口10万人当たりの相談件数と虐待認定件数平均は83.0件と39.2件。本市は、高齢者人口10万人当たり相談101.1件、虐待認定72.2件で全国平均を上回っている。					対前年度 (低下)
						目標達成度 (---)

### 基本事業03 日常生活支援サービスの推進

指標	介護予防・生活支援サービスの利用登録者数(人) 【高齢者支援課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(R03)	(R04)	(R05)	(R08)	
		161	151	129	185	☔ (低下)
評価	(状況)利用登録者数は前年度比22人減少 (原因)生きがいサービス登録者はほぼ横ばいで、シルバーお助けサービスの登録者は減少している。従前相当訪問介護の利用が前年度と比べて増加はしていないため、ニーズの減少またはヘルパー不足もしくは周知不足が考えられ、今後の動向を見ていく必要がある。					対前年度

### 基本事業03 日常生活支援サービスの推進

指標	日常生活支援サービスを行う団体数(団体) 【地域包括支援センター】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(R03)	(R04)	(R05)	(R08)	
		9	9	11	14	☀ (向上)
評価	(状況)新たに2カ所で地域の支え合い活動が立ち上がった。 (原因)支え合い活動の立ち上げについて、生活支援コーディネーターによる地域の会議での説明やアンケート作成等、継続的な支援を行った。また、日頃から顔の見える関係性を築いていたことが立ち上げに繋がったと考える。					対前年度

### 基本事業04 介護保険サービスの推進

指標	要介護認定者(要介護1~5)のうち、在宅サービスを利用している者の割合(%) 【高齢者支援課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(R03)	(R04)	(R05)	(R08)	
		61.4	70.3	69.2	74.1	☔ (低下)
評価	(状況)基準値比 1.4P、前年度比 1.1P (原因)要介護認定者数は0.6P増に対し、在宅サービス利用者は0.3P、地域密着型サービス利用者は 4.0P。一方施設利用者は9.2P増加。特に要介護2の老健利用者が増えている(前年比+20人)新型コロナウイルス移行後、施設のリターン率がよくなってきたことが考えられる。					対前年度

### 基本事業04 介護保険サービスの推進

指標	地域密着型事業所の利用定員数(人) 【高齢者支援課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(R03)	(R04)	(R05)	(R08)	
		217	207	207	264	☔ (低下)
評価	(状況)令和5年度中の事業所の増減はなかった。 (原因)令和5年度中に公募は行っておらず、増減なし					対前年度

**基本事業05 保険制度の持続運用**

指標	介護保険1人当たりの給付額<年額> (円)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【高齢者支援課】	246,480	251,777	262,488	-
評価	(状況) 前年度と比較し10,711円増加した。一人当たりの給付額は年々増加している。 (原因) 新型コロナの5類移行により、利用者が増えたことなどにより給付額は増加したと推測される。	(円) 				対前年度
		☔ (低下)	目標達成度			
						(---)

**基本事業05 保険制度の持続運用**

指標	後期高齢者1人当たりの医療費(年額)(円)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【市民課】	1,182,337	1,181,182	1,191,124	-
評価	(状況) R4年度実績値は対前年度比0.84%増加(県内順位は15位) (原因) 県と比較し、脳梗塞・高血圧症にかかる医療費割合がやや高く、一人当たり通院費が高い水準となっている。	(円) 				対前年度
		☁ (横ばい)	目標達成度			
						(---)

政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 04 障害者（児）福祉の充実

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	障害福祉サービスの実利用者数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【福祉課】	694	739	793	910
評価	<p>【状況】対前年度7.3%増、対基準値14.3%増となっており、特に障害児の実利用者数は対前年度18.9%の大幅増となっている。</p> <p>【原因】サービス利用は年々増加傾向で推移していたが、新型コロナウイルス感染症による利用控えがほぼなくなったことで、よりサービス需要が増したと思われる。</p>	<p>(人)</p>				☀ (向上)
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度 ■■■ (高)

指標	移動を伴う障害福祉サービス延べ利用者数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【福祉課】	537	563	632	720
評価	<p>【状況】対前年度12.3%増、対基準値7.7%増となっており、令和3年度から令和4年度までの伸び幅から大幅に上昇した。</p> <p>【原因】新型コロナウイルス感染症の影響による利用控えの状況から回復し、外出機会が増加したと思われる。</p>	<p>(人)</p>				☀ (向上)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 障害福祉サービスの推進

指標	介護給付（在宅サービス）・訓練等給付・障害児通所支援の自立支援 給付利用件数 延べ数 （件） 【福祉課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(R03)	(R04)	(R05)	(R08)	基準値
		11,672	12,790	14,110	14,330	☀️
		(件)				(向上)
評価	(状況) 障害者サービスは、就労継続支援と共同生活援助が伸びている。障害児サービスは児童発達支援、放課後等デイサービスが大幅に伸びている。  (原因) 市内外での就労系事業所、グループホームの新規開設で提供体制も増加した。また、発達障害の認知が進んだことにより障害児の利用が増加した。					対
						前年度
						☀️
						(向上)
						目標
						達成度
						■■■
						(高)

## 基本事業02 地域生活支援サービスの推進

指標	地域生活支援事業の利用件数 延べ数 （件） 【福祉課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(R03)	(R04)	(R05)	(R08)	基準値
		14,679	15,406	15,079	15,750	☔️
		(件)				(低下)
評価	(状況) 目標未達成  (原因) 新型コロナウイルスの感染拡大の懸念もあってか、地活型、型の日中活動利用者数は横ばいの状況。障害者相談支援は、相談延べ件数は減少しているが、相談の実人数は増加しており、一人当たりの相談対応が減少していると考えられる。					対
						前年度
						☁️
						(横ばい)
						目標
						達成度
						■■
						(中)

## 基本事業03 障害者（児）の人権擁護

指標	障害者（児）の権利が損なわれた件数（虐待・権利）（件） 【福祉課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(R03)	(R04)	(R05)	(R08)	基準値
		0	2	2	-	
		(件)				(比較不可)
評価	(状況) 2件、虐待認定を行った。  (原因) 1件は養護者による虐待で、男女共同参画推進室と連携して対応した。障害者支援施設での保護を提案するも望まれず、後日シェルターにて保護となった。あとの1件は、障害者施設従事者による虐待で、施設への調査の結果、虐待と認定した。					対
						前年度
						(比較不可)
						目標
						達成度
						■■
						(低)

政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 05 セーフティネットの推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	生活保護に関する相談件数（過去3年平均）（件）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【福祉課】	188	196	202	188
評価	【状況】3年平均としては、6件増加した。実績としては増加傾向にある。					対 前年度
	【原因】社会全体の物価高騰が続く状況の中で、境界層にいた者が生活継続困難となって生活保護相談の増加に繋がった、と推測する。					☀️ (向上)
						目 標 達成度
						🏠 (達成)

指標	生活困窮に関する相談件数（過去3年平均）（件）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【福祉課】	111	99	48	111
評価	【状況】3年平均としては、51件減少した。					対 前年度
	【原因】管内の有効求人倍率も令和5年度4-3月で1.03から1.20と上昇している。雇用状況の改善により生活困窮に関する相談も減少したのでは、と推測している。					☔️ (低下)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (低)



# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 生活困窮者の自立支援と適正な生活保護

指標	「自立支援プラン」を作成した生活困窮世帯のうち、自立（就労）につながった世帯の割合（％） 【福祉課】	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		53.1	69.2	50.0	85.0	☔ (低下)
評価	【状況】19.2%低下した。 【原因】自立支援プラン作成件数が、前年度の13件から6件に減少した。うち3件が就労自立し、1件は内定辞退を繰り返すなど不誠実な就職活動により支援終了、残り2件は年度末での支援開始のため、現在支援継続中である。					対前年度 ☔ (低下)
	目標達成度 ■ ■ ■ (低)					

## 基本事業01 生活困窮者の自立支援と適正な生活保護

指標	生活保護で生活が守られている世帯数（世帯） 【福祉課】	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		199	213	217	-	(比較不可)
評価	【状況】前年度から4世帯増加した。生活保護受給世帯数は月では最小値207世帯、最大値234世帯で年度末にかけて増加傾向にあった。 【原因】世帯類型では高齢者世帯の増加が見られ、市内の高齢者施設への入所に伴い、親族からの支援がストップし生活保護となっているケースが多い。					対前年度 (比較不可)
	目標達成度 (---)					

## 基本事業02 市営住宅による住宅の確保

指標	市営住宅入居率（％） 【都市対策課】	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		91.6	92.4	91.7	94.0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 前年度比0.7ポイント減少 (原因) EVがない団地の高層階が空家になる現象が年々顕著になっている。また井田団地特公賃住宅の応募が少なく空屋が増加したため。					対前年度 ☁ (横ばい)
	目標達成度 ■ ■ ■ (中)					

## 基本事業02 市営住宅による住宅の確保

指標	市営住宅管理戸数（戸） 【都市対策課】	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		489	489	489	446	☁ (横ばい)
評価	(状況) 住宅住管戸数に増減なし。 (原因) 建替事業はR7～R12に実施予定のため、実績値変更なし。					対前年度 ☁ (横ばい)
	目標達成度 ■ ■ ■ (中)					



政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 06 地域福祉の推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	地域で助け合い、支え合いができていると思う市民の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【福祉課】	37.7	33.1	39.3	50.0	☀ (向上)
評価	<p>【状況】前年度から6pt増加し、2ヵ年続けて増加し基準値は超えたものの、目標値には未だ届いていない。</p> <p>【原因】5月に新型コロナウイルスが5類に移行したことで、制限が大きく緩和され、地域活動がコロナ禍前の状態に戻りつつあるためと考えられる。</p>					対 前年度
						☀ (向上)

指標	地域の福祉活動で支え合いができていると思う民生委員の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【福祉課】	76.8		86.9	80.0	☁ (横ばい)
評価	<p>【状況】回答者69名のうち、未回答者2名、「あまり思わない」7名、「やや思う」43名、「思う」17名であった。</p> <p>【原因】回答が一番多い「やや思う」は、R4 44/83件、R5 43/69で、率では10ptほど増加。「思う」では、R4 22/83件、R5 17/69で、2ptほど減少。単年比較だけでは何とも言えない。</p>					対 前年度
						☀ (向上)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 支え合いの意識と人づくり

指標	地域福祉活動に参加している市民の割合（％） 【福祉課】	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		5.9	4.3	6.3	10.0	☀ (向上)
評価	【状況】前年度比2pt増。 【原因】アンケート回答者のうち9割が10年以上の居住者で地元 に根付いている市民であることや、コロナウイルスが5類に移行 し、地域福祉活動が開催されてきていることが考えられる。					対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達 成 度 ■■ (中)

## 基本事業02 福祉サービスにつながる体制・仕組みづくり

指標	民生委員・児童委員の年間相談件数（件） 【福祉課】	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		3,531	3,191	2,589	3,570	☂ (低下)
評価	【状況】前年度から602件減少。 【原因】R4改選で半数近く民生委員が交代し、その活動初年度 であったこと、高齢者実態調査の対象を75歳以上と変更したこ と、勤務しながらの民生委員業務のほか、子育て関係の相談窓 口の認知なども影響していると思われる。					対 前年度 ☂ (低下) 目 標 達 成 度 ■■ (高)

## 基本事業02 福祉サービスにつながる体制・仕組みづくり

指標	民生委員の活動の中で、行政や社協、支援事業所等との連携ができて いると考える民生委員の割合（％） 【福祉課】	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		84.9		86.9	90.0	☀ (向上)
評価	【状況】回答者69名のうち、未回答者2名、「思わない」1名、 「あまり思わない」6名、「やや思う」41名、「思う」19名。 【原因】連携できていない機関先は、市役所6、社協1となっ ている。 理由記載欄には、市の連絡調整不足に関して 2件、実態調査の 内容記載に関して 2件が挙げられている。					対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達 成 度 ■■ (中)

政策 05 豊かな人間性と創造性を育むまちづくり

施策 01 学校教育の充実

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	将来の夢や目標を持っている小学6年生の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【学校教育課】	85.9	76.1	80.8	83.0以上	☔ (低下)
評価	(状況) 昨年度より4.7ポイント向上している。 (原因) コロナ禍での様々な制限の影響により指標値が低下していたが、学校行事の再開等により、児童が目標を掲げ、達成感を感じるような機会が増えたことが好影響を与えている。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						■ ■ (中)

指標	将来の夢や目標を持っている中学3年生の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【学校教育課】	65.2	62.1	65.1	72.0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 昨年度より3ポイント向上している。 (原因) コロナ禍での様々な制限の影響により指標値が低下していたが、学校行事の再開等により、生徒が目標を掲げ、達成感を感じるような機会が増えたことが好影響を与えている。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						■ ■ (中)

指標	学校教育（小・中学校）に満足している保護者の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【学校教育課】	70.7	64.9	70.7	80.0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 昨年度より5.8ポイント向上した。 (原因) コロナ禍により授業参観など、保護者と学校との関係にも制限があったが、そうした行事も再開され、子ども達も従来の学校生活に戻りつつあることで保護者の意識も変化しつつあるのではないが。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						■ ■ (中)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 確かな学力の向上

指標	小学6年生の国語、算数（全国学力・学習状況調査）の平均点の指数（pt）	基準値（R03）	実績値（R04）	実績値（R05）	目標値（R08）	対基準値
		【学校教育課】	103.9	100.1	102.5	103.0
評価	(状況) 前年度より2.5ポイント向上している。 (原因) 小学校においては、少人数学級編成事業等、きめ細かな指導を行い、令和5年度全国学力・学習状況調査の平均正答数の指数は、全国平均を上回ることができた。					対前年度
		☀ (向上)	目標達成度			
						■■■ (高)

## 基本事業01 確かな学力の向上

指標	中学3年生の国語、数学（全国学力・学習状況調査）の平均点の指数（pt）	基準値（R03）	実績値（R04）	実績値（R05）	目標値（R08）	対基準値
		【学校教育課】	100.3	99.6	95.2	100.0以上
評価	(状況) 前年度を4.4ポイント下回り、2年連続で国の平均を下回っている。 (原因) 中学校ごとに状況に応じた学力向上の取り組みを行っているが、数学の応用問題等の正答率が低い状況にある。					対前年度
		☂ (低下)	目標達成度			
						■■ (低)

## 基本事業02 豊かな心の育成

指標	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う小学6年生の割合（％）	基準値（R03）	実績値（R04）	実績値（R05）	目標値（R08）	対基準値
		【学校教育課】	84.8		84.1	85.0
評価	(状況) 【新指標】目標を0.9ポイント下回る。県82.9、国82.6を上回っている。 (原因) 各学校にて、道徳教育や命・人権に関する体験活動を充実させ、いじめ防止に努めている。					対前年度
		(---)	目標達成度			
						■■ (中)

## 基本事業02 豊かな心の育成

指標	毎日朝食を食べている小学6年生の割合（％）	基準値（R03）	実績値（R04）	実績値（R05）	目標値（R08）	対基準値
		【学校教育課】	94.9	90.4	93.4	95.0
評価	(状況) 前年度を3ポイント上回っている。 (原因) PTAを主体とした「早寝、早起き、朝ご飯」の取組など各学校で朝食摂取の大切さについて家庭と連携して取り組んでいる。					対前年度
		☀ (向上)	目標達成度			
						■■ (中)

### 基本事業02 豊かな心の育成

指標	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う中学3年生の割合(%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【学校教育課】	86.7		79.1	85.0	☂ (低下)
評価	(状況)【新指標】目標値を5.9ポイント下回っている。 (原因)道徳教育など学校教育全般を通して生徒の規範意識の向上、生命や人権を大切にす指導を行なっているが十分な成果に結びついていない。					対前年度
						(---) 目標達成度 ■■■ (低)

### 基本事業02 豊かな心の育成

指標	毎日朝食を食べている中学3年生の割合(%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【学校教育課】	92.1	92.7	88.6	93.0	☂ (低下)
評価	(状況)前年を4.1ポイント下回り、県や国の平均も下回っている。 (原因)スマホ(SNSやゲーム)の深夜までの使用など、生活リズムの乱れによるものと想定される。					対前年度
						☂ (低下) 目標達成度 ■■■ (低)

### 基本事業03 健やかな体の育成

指標	小学5年生の体力・運動能力調査の平均点の指数(pt)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【学校教育課】	98.2	98.9	98.7	100.0以上	☁ (横ばい)
評価	(状況)前年度を0.2ポイント下回っている。 (原因)横ばいの状況が続いている。スポコン広場など運動に対する積極的な活動の様子も見られ、縄跳びなど近隣自治体でも高い水準の記録も出しているが、基礎的な運動能力の向上につながっていない状況である。					対前年度
						☁ (横ばい) 目標達成度 ■■■ (中)

### 基本事業03 健やかな体の育成

指標	中学2年生の体力・運動能力調査の平均点の指数(pt)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【学校教育課】	101.5	105.7	105.6	102.0	☀ (向上)
評価	(状況)前年度を0.1ポイント下回っている。 (原因)コロナ禍によりいったん低下した年度もあったが、部活動が正常化した令和4年度以降高水準を維持している。					対前年度
						☁ (横ばい) 目標達成度 ■■■ (達成)

**基本事業04 小中連携・地域連携の推進**

指標	学校関係者評価において、学校と地域との連携がとれていると認められた学校（小学校）の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【学校教育課】	77.3		100	100.0	☀ (向上)
評価	(状況)【新指標】全校で目標達成している。 (原因)全小学校でコミュニティスクールを実践するなど、地域と連携した学校運営に取り組んでいる。					対前年度
						(---)
						目標達成度
						☑ (達成)

**基本事業04 小中連携・地域連携の推進**

指標	1,000人当たり不登校生徒の出現率（全国平均100とした場合）（過去3年平均）(pt)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【学校教育課】	114.6	不明	-	100.0以下	(---)
評価	指標取得のための全国統計が未発表					対前年度
						(---)
						目標達成度
						(---)

**基本事業05 教育環境の充実**

指標	長寿命化計画事業の着手率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【教育総務課】	25.0		65.4	88.5	☀ (向上)
評価	(状況)筑後北中のエレベーター更新等を行った。 (原因)計画どおりに行った。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						☑ (達成)

**基本事業05 教育環境の充実**

指標	老朽化空調設備の更新率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【教育総務課】	17.8		42.2	68.9	☀ (向上)
評価	(状況)筑後北小職員室、二川小図書室、筑後中職員室の空調機の更新を行った。 (原因)故障等により計画を変更し行った。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						☑ (達成)

**基本事業05 教育環境の充実**

指標	小中学校門扉の設置校数（校数）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【教育総務課】	4		8	12
評価	(状況) 二川小学校、西牟田小学校の2校に門扉を設置した。 (原因) 計画どおりに実行できた。	(校数) 				対 前年度
						☀ (向上)
						☀ (達成)

**基本事業05 教育環境の充実**

指標	施設設備営繕要望の対応率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【教育総務課】	96.6		99.1	98.0以上
評価	(状況) 対応件数が多くなっているが、ほとんど対応できた。 (原因) 速やかに実施している。	(％) 				対 前年度
						☀ (向上)
						☀ (達成)





政策 05 豊かな人間性と創造性を育むまちづくり

施策 02 生涯学習・スポーツの推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	生涯学習活動を行っている市民の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【社会教育課】	64.9	69.18	68.16	70.0
評価	(状況) 昨年度から若干低下した。 (原因) 生涯学習の中でも、読書や趣味をしている市民の割合が若干減少している。					☁️ (横ばい)
						☀️ (高)

指標	学習効果を家庭・地域に活かしている市民の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【社会教育課】	33.8	31.94	27.04	35.0
評価	(状況) 昨年度から1割以上低下している。 (原因) 学習効果を自分のために活かしていると答えた人が増加し、家庭のために活かしている人が減少している。					☔️ (低下)
						☔️ (高)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 生涯学習の推進

指標	生涯学習の機会に満足している市民の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【社会教育課】	11.4	10.0	15.38	17.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度からはやや回復した。 (原因) ふつと答えた市民の割合が圧倒的に多いが、すべての年代において、満足・やや満足と答えた市民の割合が不満・やや不満と答えた市民の割合より多くなっている。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						■ (高)

## 基本事業01 生涯学習の推進

指標	社会教育施設の年間利用者数 (人)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【社会教育課】	110,842	167,992	180,881	240,000	☀ (向上)
評価	(状況) サザンクス筑後 80,264人 中央公民館(サンコア) 48,293人 北部交流センター(チクロス) 52,324人 前年度に比べサザンクスとチクロスは増、サンコアは20%減となっている。 (原因) サンコアの利用件数は約3%減であり、サンコアでの多人数でのイベントの減少、利用団体の会員数減少が考えられる。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						■ (高)

## 基本事業01 生涯学習の推進

指標	協働活動サポーター登録者数 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【社会教育課】	168	255	312	220	☀ (向上)
評価	(状況) 昨年度同様、目標を超えている。 (原因) 各学校で活動が広がり、活動に応じてサポーターも増えたものと思われる。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

## 基本事業01 生涯学習の推進

指標	図書館を利用している市民の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【社会教育課】	26.6	26.7	26.6	30.0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 令和6年3月31日現在 人口 49,181人 市民登録者 13,071人 前年度比0.1%減 (原因) 図書館イベント情報等を発信しておりイベント参加者は多い。しかし既登録者の参加が多い為か、必ずしも新規登録には結びついていない。					対前年度
						☁ (横ばい)
						目標達成度
						■ (高)

**基本事業02 生涯スポーツの推進**

指標	週に1回以上、運動・スポーツをしている市民の割合(%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【社会教育課】	52.0	48.6	52.1	50.0以上	(横ばい)
評価	(状況)前年度から増加し、目標達成となった。 (原因)コロナ収束に伴い、運動・スポーツに対する状況がコロナ以前の通常の状況に戻った可能性がある。					対 前年度
						(向上)
						目 標 達 成 度
						(達成)

**基本事業02 生涯スポーツの推進**

指標	競技会場に行ってスポーツを見る市民の割合(%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【社会教育課】	19.2	21.7	30.2	40.0	(向上)
評価	(状況)前年度に引き続き回復傾向にある。 (原因)新型コロナウイルス感染症が収束しつつあり、増加したものと推測される。					対 前年度
						(向上)
						目 標 達 成 度
						(高)

**基本事業02 生涯スポーツの推進**

指標	1年間にスポーツボランティア活動をした市民の割合(%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【社会教育課】	6.4	10.8	11.2	8.0	(向上)
評価	(状況)前年度から増加した。昨年度に続き目標を達成している。 (原因)新型コロナウイルス感染症が収束に近づき、運営スタッフや出場者の保護者等による活動が増加したためと推測される。					対 前年度
						(向上)
						目 標 達 成 度
						(達成)

**基本事業03 文化財の保護と活用**

指標	指定文化財のき損・滅失・亡失・盗難件数(件)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【社会教育課】	2	0	2	0	(横ばい)
評価	(状況・原因) ・R5年度のき損件数は水田天満宮本殿棧唐戸破損1件(R5.9.10の突風と風雨)、山梶窩雨戸破損1件(風雨と経年劣化による)、合計2件。 滅失・亡失・盗難件数は0件であった。					対 前年度
						(低下)
						目 標 達 成 度
						(低)

**基本事業03 文化財の保護と活用**

指標	市民が活用した無形指定文化財等の件数（件）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【社会教育課】	5	11	12	5
評価	(状況) 水田千燈明、稚児風流、盆綱曳き、修正会、溝口千燈明、 欠塚古墳天体観望、平和事業、小さな博物館5回、合計12件	(件) 				対 前年度
		☀ (向上)	目 標 達成度	☀ (達成)		

**基本事業04 青少年教育・体験活動の推進**

指標	青少年体験活動に満足している参加者の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【社会教育課】	92.8	92.5	80	90.0以上
評価	(状況) 6月のトレーニングキャンプ、8月のサマーキャンプで、 目標を下回った。 (原因) キャンプの申込者、参加者ともに昨年度からは増加している。 場所の選定や当日の天候が満足度に大きく影響している。	(％) 				対 前年度
		☂ (低下)	目 標 達成度	☂ (高)		

政策 05 豊かな人間性と創造性を育むまちづくり

施策 03 男女共同参画社会の推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	男女が平等だと思う市民の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値	
		【男女共同参画推進室】	54.6	56.9	54.9	58.0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 昨年との比較						☂ (低下)
	学校78.1% 75.4% 職場47.5% 46.1% 家庭53.5% 50.2% 地域48.6% 48.0%						

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 男女共同参画社会実現に向けた市民や市内企業への啓発

指標	「男は仕事、女は家庭」という固定的な役割分担意識に反対する市民の割合(%) 【男女共同参画推進室】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(R03)	(R04)	(R05)	(R08)	
		48.4	48.8	49.7	55.0	☀️ (向上)
評価	(状況)向上 (原因) 終身雇用制度が崩壊し、非正規労働者が増える中、夫婦共に働かなければ生計維持が難しくなっており、夫婦共働き世帯の増加が原因と思われる。					対前年度 ☀️ (向上)
						目標達成度 ■■■ (高)

## 基本事業02 まちづくりにおける女性参画の推進

指標	審議会・委員会の女性登用率(%) 【男女共同参画推進室】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(R03)	(R04)	(R05)	(R08)	
		32.8	33.1	32.6	35.0	☔️ (低下)
評価	(状況)下降 (原因)過去3年間の平均のため R2: 34.1%、R3: 33.0%、R4: 32.1%、R5: 32.7% 令和5年度委員総数321人(内105人)、令和4年度委員総数324人(内104人)。分母である委員総数が3人減り分子である女性数が1人増えたため令和5年度は改善したが、過去3年間の平均のため、減少。					対前年度 ☔️ (低下)
						目標達成度 ■■■ (高)

## 基本事業02 まちづくりにおける女性参画の推進

指標	区長・公民館長・地域役員の女性登用率(%) 【男女共同参画推進室】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(R03)	(R04)	(R05)	(R08)	
		-	21.6	21.7	23.0	(比較不可)
評価	(状況)上昇 女性区長(R4)3/75人 (R5)2/75人 女性公民館長(R4)5/75人 (R5)7/75人 女性地域役員(R4)274/1270人 (R5)267/1228人 (原因) 直接的な原因は分からないが、R4年度広報ちくご「ふらっと」ページの啓発2回、一期一座での寸劇啓発を行っており、地道な啓発が繋がったとも推察される。					対前年度 ☀️ (向上)
						目標達成度 ■■■ (高)

## 基本事業03 男女に関する人権保護と相談体制の充実

指標	男女の人権に関する通知・連携件数(件) 【男女共同参画推進室】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(R03)	(R04)	(R05)	(R08)	
		2	0	3	-	(比較不可)
評価	(状況)DVによる県との連携は3件 (原因) SNSで繋がりが他県から転入後、恋人間DVのため一時保護。同一人物2件 今までDVを我慢して、ヘルパーさんの支援もあり一時保護に繋がったケース1件					対前年度 (比較不可)
						目標達成度 (---)

**基本事業04 ジェンダー平等の視点を反映した施策の推進**

指標	ジェンダー平等の視点が事業に反映していると思う職員の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【男女共同参画推進室】	66.3	65.7	69.9	70.0
評価	(状況) 向上 「どちらかといえばそう思う」と答えた職員が増えた。 (原因) 直接的な原因は分からない。事務職の回答が増えており、性別に関わりなく事業実施が行われていると考える職員が多いのではないかと推察される。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						■■■ (高)





政策 05 豊かな人間性と創造性を育むまちづくり

施策 04 人権尊重と同和教育の推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	最近1年間に人権を傷つけられたことがある市民の割合(%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【人権・同和対策室】	23.8	21.6	23	21.0
評価	(状況)前年比1.4ポイント増 (原因)新型コロナウイルス感染症の位置づけが引き下げられ、これまで対面での接触を控えオンラインでの会議などが行なわれていたが、これらの規制や制限が撤廃されたことで、対面での交流や会議など増えたことが要因と考えられる。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

## 基本事業の成果状況と評価

### 基本事業01 市民や市内企業への人権教育・啓発

指標	人権啓発事業・講座への初めての参加者の割合(%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【人権・同和対策室】	26.0	22.9	31.1	31.0
評価	(状況)7月講演会(37.2%)、12月つどい(24%)、セミナー(27%)合計270/867人(31.1%)。昨年度比8.2ポイント増。 (原因)今年度は新型コロナウイルス感染症の位置づけも引き下げられ、規制や制限が撤廃されたことが大きく影響していると考えられる。					対 前年度
		☀ (向上)	目 標 達 成 度			
						☀ (達成)

### 基本事業02 児童・生徒への人権教育・啓発

指標	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う小学6年生の割合(%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【人権・同和対策室】	84.8	85.7	84.1	85.0
評価	(状況)前年度比1.6ポイント減 (原因)加害者側(児童)への教員の指導に対し、児童が納得できず不満があり、納得できていないなどの意見もでていないか。しかし、前年度比較については、対象者が同じではないため比較しづらい。					対 前年度
		☂ (低下)	目 標 達 成 度			
						☂ (中)

### 基本事業02 児童・生徒への人権教育・啓発

指標	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う中学3年生の割合(%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【人権・同和対策室】	1.0	85.3	79.1	85.0
評価	(状況)前年度比6.2ポイント減 (原因)加害者側(生徒)の教員による指導に対し生徒が納得できておらず不満が出ているのかもしれない。しかし、前年度比較については、対象者が同じではないため比較しづらい。					対 前年度
		☂ (低下)	目 標 達 成 度			
						☂ (中)

政策 06 安全で安心して暮らせるまちづくり

施策 01 防災・減災対策の推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	被災世帯・事業所数 (件)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【防災安全課】	4	0	55	0
評価	(状況) 令和5年7月10日の大雨により、家屋被害37件(床上浸水6件、床下浸水31件)、店舗・事業所被害18件					対前年度
						☔ (低下)
						目標達成度
						■ (低)

指標	災害による負傷者数 (人)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【防災安全課】	0	0	1	0
評価	(状況) 令和5年7月10日の大雨により、軽症者1名が発生した。					対前年度
						☔ (低下)
						目標達成度
						■ (低)

指標	災害による死亡者数 (人)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【防災安全課】	0	0	0	0
評価	(状況) 令和5年度において、市内で災害による死亡者は0件だった。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)



**基本事業03 災害時の支援体制の充実**

指標	災害時応援協定締結数 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【防災安全課】	76		91	86
評価	(状況) 災害時応援協定を全庁的に整理し、すでに締結済みだった協定を追加したことにより、協定数が増加した。(前年度比較+13協定)	(％) 				対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)


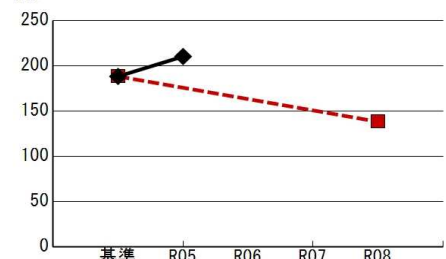





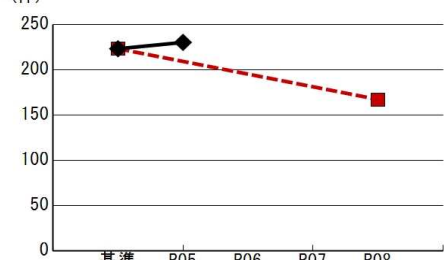


政策 06 安全で安心して暮らせるまちづくり


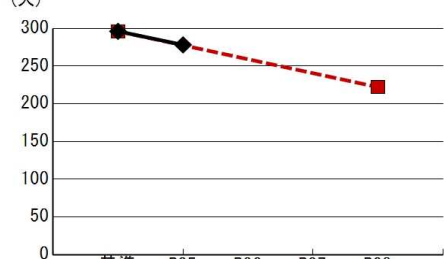


施策 02 安全な暮らしの推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	市内の刑法犯認知件数（件）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【防災安全課】	188	182	210	138	 (低下)
評価	(状況) 前年から28件増加した。 (原因) 市内の刑法犯認知数の増加は、窃盗犯件数の増加が主な要因といえる。(R4年108件、R5年140件)					対 前年度  (低下) 目 標 達成度  (中)

指標	交通事故発生件数（件）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【防災安全課】	223	253	230	167	 (横ばい)
評価	(状況) 前年から23件減少した。 (原因) 運転免許返納支援事業を開始したこと等による高齢者に起因する事故の減少が要因と思われる。(令和4年115件、令和5年86件)					対 前年度  (向上) 目 標 達成度  (高)

指標	交通事故死傷者数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【防災安全課】	296	329	278	222	 (向上)
評価	(状況) 前年から51件減少した。 (原因) 交通事故件数の減少が、死傷者数の減少につながった。					対 前年度  (向上) 目 標 達成度  (中)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 防犯対策の推進

指標	家庭での防犯対策取組項目数（10項目中）（項目）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【防災安全課】	1.31	2.96	2.85	2.5	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度から0.11ポイントの微減となったが、目標値は達成した。					対 前年度
						☂ (低下)
						目標 達成度
						🏰 (達成)

## 基本事業01 防犯対策の推進

指標	地域での防犯対策実践延べ数（11校区×4項目中）（項目）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【防災安全課】	29	36	33	32	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度から3ポイント減少 (原因) 天候等の理由により、夜間パトロールが中止となったため、実践延べ数が減少した。					対 前年度
						☂ (低下)
						目標 達成度
						🏰 (達成)

## 基本事業02 交通安全活動の推進

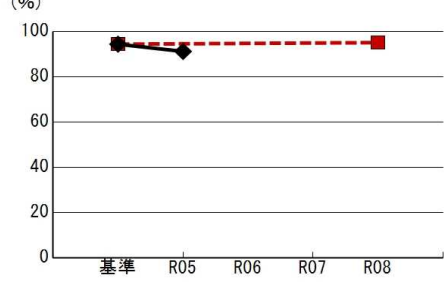


指標	交通事故死者数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【防災安全課】	0		0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 市内の交通事故死者数は0件だった。					対 前年度
						☀ (向上)
						目標 達成度
						🏰 (達成)

## 基本事業02 交通安全活動の推進

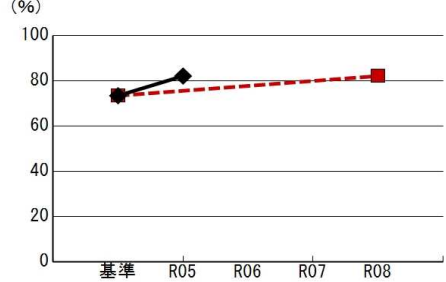


指標	高齢者1,000人当たりの交通事故死傷者数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【防災安全課】	4.18	4.81	4.20	4.2	☀ (向上)
評価	(状況) 前年より0.61ポイント減少した。 (原因) 高齢者の交通事故件数が減少したことが要因と考えられる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目標 達成度
						🏰 (達成)



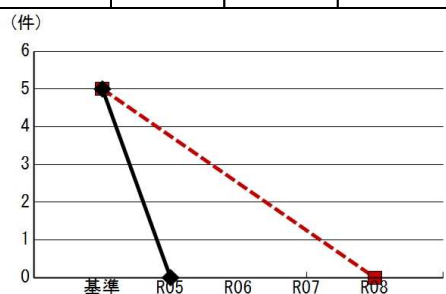
### 基本事業03 消費生活の安定

指標	消費者相談の解決率（過去3年平均）（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【福祉課】	94.3	92.7	91.1	95.0
評価	<p>（状況）単年度の数値は87.5で、前年度より5.2pt低下し、過去3年の平均実績値も前年度より1.6pt低下した。</p> <p>（原因）センターが介入した案件のうち、高度な専門知識が必要なため他機関を紹介したものが増加したことが影響した。</p>					対 前年度  (低下) 目 標 達成度  (達成)

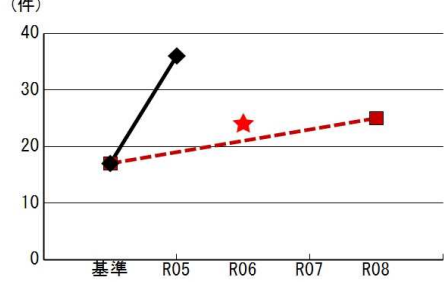


### 基本事業03 消費生活の安定

指標	クーリングオフを知っている市民の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【福祉課】	73.3	80.4	82.0	82.0
評価	<p>（状況）前年度より1.6pt上昇。40～64歳の層が前年度より大きく上昇した。</p> <p>（原因）様々な消費トラブルが増加・複雑化していることが報道等で取り上げられることも増え、消費者側の意識も高まってきているのではないかと考えられる。</p>					対 前年度  (向上) 目 標 達成度  (達成)

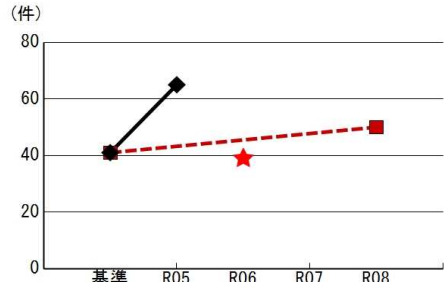


### 基本事業03 消費生活の安定

指標	特殊詐欺被害件数（件）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【福祉課】	5	0	0	0
評価	<p>（状況）令和5年度の発生件数は0件であった。</p>					対 前年度 (---) 目 標 達成度 (---)

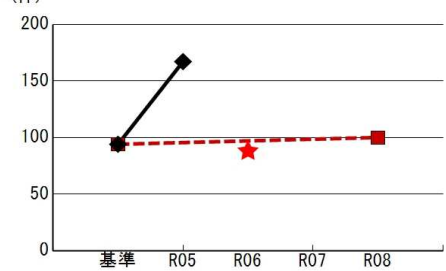


### 基本事業04 空き家の適正管理

指標	老朽危険家屋の除却件数（累計）（件）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【防災安全課】	22	26	36	25
評価	<p>（状況）令和5年度除却件数10件</p> <p>（原因）市民の空き家問題に対する関心が高まったことや市の除却補助事業が浸透したことが要因であると考えられる。</p>					対 前年度  (向上) 目 標 達成度  (達成)

**基本事業04 空き家の適正管理**

指標	空き家バンク取引成約件数（累計）（件）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【防災安全課】	60	62	65	50
評価	(状況) 令和5年度成約件数3件	(件) 				対 前年度
						 (向上)
						目 標 達成度
						 (低)

**基本事業04 空き家の適正管理**

指標	空き家バンク登録件数（累計）（件）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【防災安全課】	130	153	167	100
評価	(状況) 令和5年度登録件数14件	(件) 				対 前年度
						 (向上)
						目 標 達成度
						 (中)

政策 06 安全で安心して暮らせるまちづくり

施策 03 消防・救急・救助体制の整備充実

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	人口1万人当たりの火災件数(3.5件) 【予防課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(R03)	(R04)	(R05)	(R08)	
		2.9	2.0	3.5	→	☂ (低下)
評価	(状況) 火災件数は17件であり、昨年比で5件増加している。 (原因) 建物火災が7件、その他火災が1件増加している。					対前年度
						☂ (低下)
						目標達成度
						■■■ (中)

指標	市の消防や救急体制に満足している市民の割合(%) 【警防課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(R03)	(R04)	(R05)	(R08)	
		96.8	96.7	96.7	97.0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 数値はほぼ横ばいである。 (原因) 依然として高い水準のまま推移している。					対前年度
						☁ (横ばい)
						目標達成度
						■■■ (高)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 消防団の充実強化

指標	平時にすぐに消防活動ができる団員の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【総務課】	41.1	39.9	41.6	45.0	☀ (向上)
評価	(状況) ・昨年度から1.7%上昇 (原因) ・アンケート調査による昨年との比較で、平時に活動可能な団員数が微増していたことが1つの要因と思われるが、直接的な要因の把握には至っていない。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (低)

## 基本事業02 防火意識の高揚

指標	火災全体に占める住宅火災の割合（23.5％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【予防課】	42.9	16.7	23.5	25.0	☂ (低下)
評価	(状況) 目標を達成している (原因) 全体の火災による住宅の火災は、抑えられている。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

## 基本事業02 防火意識の高揚

指標	市民による火災に対する初期消火実施率（70.6％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【予防課】	50.0	75.0	70.6	→	☁ (横ばい)
評価	(状況) 市民による火災に対する初期消火実施率は70.6%であった。 (原因) 市民及び事業所に対する訓練指導等の成果と思われる。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

## 基本事業02 防火意識の高揚

指標	住宅用火災警報器設置率（61.25％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【予防課】	76	61.0	61.25	85.0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 昨年度と比較して0.25%の増加となっており、ほぼ横ばいである。 (原因) 様々な啓発を継続してきたためと思われる。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (中)

### 基本事業03 救急救命体制の充実

指標	市民による心肺停止患者への蘇生術の実施率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【警防課】	76.4	87.5	48	80.0	☔ (低下)
評価	(状況) 数値は減少 (原因) 119番を受診する指令員の口頭指導と救急隊からのプレ アライバルコール(出動時の電話による指導)を行っている が、心肺蘇生法の協力が得られていない。					対 前年度
						☔ (低下)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (低)

### 基本事業03 救急救命体制の充実

指標	軽症での救急車利用割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【警防課】	42.7	50.5	46.6	30.0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 数値は低下 (原因) コロナ禍は収束したものの、救急車を利用しなくて も、自ら病院受診できる市民からも救急要請があり、適正利用 につながっていない。					対 前年度
						☔ (低下)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (中)

### 基本事業03 救急救命体制の充実

指標	人口千人当たりの救急救命士の割合（人）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【警防課】	0.2		0.26	0.3	☁ (横ばい)
評価	(状況) 横ばい (原因) 人口はやや増加していく中で、救急救命士の要請は年 に1人、かつ、昇任昇格等で現場に出動する救命士の人数が増 加しない。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (中)

### 基本事業04 防火対象物・危険物施設の適正管理の徹底

指標	立入検査時、消防設備が維持されていない割合（過去5年平均）（15.9％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【予防課】	8.6	18.9	15.9	→	☁ (横ばい)
評価	(状況) 昨年度より3％の上昇が認められたがほぼ横ばいであ る。 (原因) 業者の立ち入り制限が解除されたが継続して是正指導 を行っていく必要がある。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (高)

**基本事業04 防火対象物・危険物施設の適正管理の徹底**

指標	危険物施設の火災・漏洩事故発生件数（件）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【予防課】	2	1	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 危険物施設等の事故の発生はなかった。 (原因)					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						☑ (達成)

**基本事業05 各種消防力の整備**

指標	市消防本部の通常人員で対応できなかった出動回数（回）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【警防課】	53	63	55	0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 数値は若干の減少 (原因) 救急件数の増加・輻輳により対応困難な事案が増加					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						■■ (中)

**基本事業05 各種消防力の整備**

指標	資機材トラブル件数（件）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【警防課】	27	17	14	0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 数値は横ばい。 (原因) 指令台更新と重複したため車両更新を引き延ばす等、車両及び資機材の長期使用を余儀なくされている状況である。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						■■ (中)

政策 07 持続可能なまちづくり

施策 01 市民協働の推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	地域活動へ参加している市民の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【協働推進課】	46.7	36.4	57.2	60.0
評価	昨年度の新型コロナウイルス感染症の分類引き下げに伴い、地域活動がようやく再開されたことが影響していると考えられる。					対 前年度
		(対前年度) ☀ (向上) (目標達成度) ■■■ (高)				

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 地域コミュニティ活動の活性化

指標	身近な地域活動が盛んであると感じている市民の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【協働推進課】	-		43.7	50.0	
評価	昨年度の新型コロナウイルス感染症の分類引き下げられたことで地域活動がようやく再開されたが、主に高齢者を対象とした活動では実施・参加の両面で警戒感も残っていたため、活動自体が盛んになったと感じる人が少ない部分もあったと思われる。					対 前年度
		(比較不可)				(比較不可)

## 基本事業01 地域コミュニティ活動の活性化

指標	行政区加入率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【協働推進課】	94.2	93.8	93.1	94.5	
評価	行政区加入促進パンフレットを作成し、各行政区や市窓口にて配布を行っているが、前年比で微減となっている。コロナ禍で地域活動が十分にできなかったことも影響していると考えられるため、環境美化、子どもや高齢者の見守り等の基本的な自治会活動への理解から深めていく必要がある					対 前年度
		(横ばい)				(横ばい)

## 基本事業02 市民活動の活性化

指標	市民活動団体・ボランティア団体の数（団体）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【協働推進課】	39	37	40	42	
評価	市民団体相互の理解を図る目的で8月と2月に代表者会議を実施。また、市民活動団体登録制度による登録団体について、団体の紹介冊子を作成し、行政区や校区コミュニティ協議会へ配付したほか市HPに掲載すること等により周知を図っている。活動支援補助金の活用団体は5件（年度比+3）であった。					対 前年度
		(横ばい)				(向上)

## 基本事業02 市民活動の活性化

指標	市民活動団体・ボランティア団体構成員（人）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【協働推進課】	1,744	1,941	2,049	1,850	
評価	コロナ禍を経て、市民活動団体の活動も元に戻りつつあり、令和5年度は新規市民活動団体登録が5団体あった。					対 前年度
		(向上)				(向上)



**基本事業03 国際化・多文化共生の推進**

指標	多文化共生を理解している市民の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【協働推進課】	-	37.3	37.9	25.0
評価	日本を訪れる多くのインバウンド外国人だけでなく、市内の様々な場所でも多くの外国人を見る機会が増えた。また少子高齢社会と人口減少時代の到来により、日常生活における外国人労働者の重要性も増しており、外国人に対する理解も深まっていると思われる。					対 前年度
			(比較不可)	(比較不可)	目 標 達成度	(達成)

**基本事業03 国際化・多文化共生の推進**

指標	外国語等を用いた情報提供件数（件）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【協働推進課】	5	11	12	12
評価	市の窓口業務における機器の外国語表示の導入や市が配付する各種冊子の多言語対応等により外国語での情報提供が可能となった。					対 前年度
			(向上)	(横ばい)	目 標 達成度	(達成)



政策 07 持続可能なまちづくり

施策 02 デジタル化の推進

あるべき姿

「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を実現すること。また行政事務が最適化され、職員負担の軽減と事務の効率化が同時に実現できること。

施策の成果状況と評価

指標	行政手続きのオンライン申請率 ( % )	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【企画調整課】	18.4	44.9	49.7	51.0
評価	R4:44.9% R5:49.7% (+4.8pt) 昨年に引き続き「件数が多く住民等の利便性の向上や業務の効率化効果が高いと考えられる手続」のみの利用に留まっている。特に職員採用試験申込について83.9%とオンライン申請率が高い結果となっている。					対前年度

指標	マイナンバーカードを取得している市民の割合 ( % )	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【企画調整課】	45.0	68.9	78.0	95.0
評価	R4:68.9% R5:78.0% (+9.1pt) マイナポイント第二弾事業の期間延長 (R5.9末) に伴い交付率が向上した。しかし、事業終了後は伸びが鈍化しており、引き続き取得促進及び利活用促進の取組が必要である。R6.3よりマイナンバーカードを利用したオンライン証明発行、申請書作成支援サービスを開始した。					対前年度

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 行政のデジタル化の推進

指標	国が示すオンライン化を推進すべき手続きのオンライン化達成率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【企画調整課】	44.4		97.2	100.0	☀️ (向上)
評価	国のぴったりサービス申請管理で公開されている「子育て」「介護」「被災者支援」「引越し」の手続（36手続）のうちオンライン申請を「可」としている手続数の率。 介護の「居宅サービス計画作成依頼（変更）届出書」のみ、国が示す様式では情報不足のため市独自様式を採用しており電子申請不可。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						■■■ (高)

## 基本事業01 行政のデジタル化の推進

指標	デジタル化により短縮した業務時間（累計）（時間）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【企画調整課】	-	588	1,375	23,000	☀️ (向上)
評価	新たなデータ抽出22件（651時間短縮） 新たなRPA開発11件（136時間短縮）を行っている。令和4年度の実績に加算し1,375時間となる。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						■■ (低)

## 基本事業01 行政のデジタル化の推進

指標	重大インシデント発生回数（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【企画調整課】	1	1	0	0	☀️ (向上)
評価	令和5年度中に重大インシデント（インシデントが住民の生活や行政運用に重大な影響を与える場合）の発生はなし。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

## 基本事業02 地域のデジタル化の促進

指標	DX実践による地域課題解決件数（累計）（件）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【企画調整課】	-	0	1	10	☁️ (横ばい)
評価	筑後市スマホサポーター養成講座を開催し、20名を認定した。今後は主に市が主催する講座や説明会等で活躍して頂きたいと考えている。 2月に学校給食費の公会計化等5事業につき「デジタル田園都市国家構想交付金」の申請を行い、申請どおり採択されている。令和6年度は5件実施の予定。					対前年度
						☁️ (横ばい)
						目標達成度
						■■ (低)

**基本事業02 地域のデジタル化の促進**

指標	市のICTサービスを利用している市民の割合(%)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値										
		【企画調整課】	58.9	68.1	68.4	80.0	☀ (向上)									
評価	<p>昨年度と比して横ばいである。マイナンバーカードを使った申告のみ1割程度低下（マイナポイント事業終了が影響している可能性はあるが）したが、他のサービスは横ばい又は微増という状態。コンビニ交付については昨年度比で17%伸びている。</p>	<table border="1"> <caption>実績値と目標値の推移</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値 (R03)</td> <td>58.9</td> </tr> <tr> <td>実績値 (R04)</td> <td>68.1</td> </tr> <tr> <td>実績値 (R05)</td> <td>68.4</td> </tr> <tr> <td>目標値 (R08)</td> <td>80.0</td> </tr> </tbody> </table>				項目	値 (%)	基準値 (R03)	58.9	実績値 (R04)	68.1	実績値 (R05)	68.4	目標値 (R08)	80.0	対 前年度
		項目	値 (%)													
基準値 (R03)	58.9															
実績値 (R04)	68.1															
実績値 (R05)	68.4															
目標値 (R08)	80.0															
						☁ (横ばい) 目 標 達 成 度 ■ ■ ■ (高)										



政策 07 持続可能なまちづくり

施策 03 積極的な広報・広聴の展開

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	市政情報が、広報・広聴により適切に共有できていると思う市民の割合(%) 【総務広報課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(R03)	(R04)	(R05)	(R08)	基準値
		77.3	76.9		85.0	(---)
評価		(---) 100 80 60 40 20 0				対
						前年度
						(---)
						目 標 達成度
						(---)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 広報の充実

指標	市政からの情報がわかりやすく伝えられていると思う市民の割合（％） 【総務広報課】	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		77.3	73.5	77.6	85.0	(横ばい)
評価	(状況) 前年比4.1ポイント増。基準値に対してはほぼ横ばい (原因) 引き続き市公式LINEによる情報発信を実施。広報紙にもできる限り二次元バーコードを掲載し、ホームページへ誘導することでより豊富な情報を発信することができたからではないかと考えられる。					対前年度
						(向上)
						目標達成度
						(中)

## 基本事業01 広報の充実

指標	パブリシティにより、新聞5紙に掲載された筑後市関連の記事件数（件） 【総務広報課】	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		161	153	88	250	(低下)
評価	(状況) 対基準値、対前年度いずれも低下。 (原因) イベント等がほぼ復活してきているが、					対前年度
						(低下)
						目標達成度
						(低)

## 基本事業02 広聴の充実

指標	意見を行政に伝える機会に満足している市民の割合（％） 【総務広報課】	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		77.2	80.2	75.4	85.0	(低下)
評価	(状況) 対基準値、対前年度ともに低下 (原因) 意見交換の機会や、意見提出のツールは増えたものの、満足度は低下している。意見提出しやすい環境や周知が不足していると考えられる。					対前年度
						(低下)
						目標達成度
						(低)

## 基本事業02 広聴の充実

指標	広聴による年間の市民からの意見件数（件） 【総務広報課】	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		697		689	800	(横ばい)
評価	(状況) 基準値比ほぼ横ばい (原因) パブリックコメント制度の変更や損傷報告機能の追加等を実施したが、基準値と同程度の件数。制度・機能の周知不足。					対前年度
						(---)
						目標達成度
						(低)



政策 07 持続可能なまちづくり

施策 04 持続可能な行政経営

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	全施策の市民満足度平均 (pt)	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【企画調整課】	3.04	3.01	3.08	3.2
評価	(状況) 前年比0.07pt向上し、コロナ禍前の数値に戻った。数値としては僅かであるが、個別では23本/28本、全体の82%の施策が満足度が向上している。					対前年度
	(原因) コロナ禍が終わったことにより、社会的な閉塞感が緩和されたことが大きな要因であると思われる。					☀️ (向上)
						目標達成度
						■ ■ ■ (中)

指標	総合計画（重点基本事業）の成果指標向上割合（対基準値）（%）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
		【企画調整課】	74.1	52.9	50	80.0
評価	(状況) 24成果指標（重点基本事業）の内、12成果指標（重点基本事業）が向上している。					対前年度
	(原因) 豪雨による浸水被害や都市計画用途地域内の申請割合の低下、コロナ禍の間のコミュニケーション不足等による「育てにくさを感じた時に対処できる保護者の割合」が回復していないことが主な要因。					☹️ (比較不可)
						目標達成度
						■ ■ ■ (中)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 PDCAサイクルの実践

指標	PDCAサイクルのための取組平均実践項目数（監督職以上）（6項目中）（項目）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【企画調整課】	2.4	2.7	2.7	3.6	(横ばい)
評価	(状況) 数値は横ばい (原因) 昨年同様。突発的な業務が多いなか、病休・育休者が非常に多く、マンパワーが足りていないことが一因と考えられる。					対前年度
						(横ばい)
						目標達成度
						(低)

## 基本事業01 PDCAサイクルの実践

指標	人事評価における改善実践力の平均点（5点満点）（点）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【企画調整課】	3.01	2.99	3.01	3.3	(横ばい)
評価	(状況) 微増、ほぼ横ばい (原因) 業務多忙や人員不足等により、通常業務の改善が先送りされていることが一因と考えられる。					対前年度
						(横ばい)
						目標達成度
						(中)

## 基本事業01 PDCAサイクルの実践

指標	事務事業の成果指標向上割合（対基準値）（%）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【企画調整課】	46.1	48.9	46.7	52.0	(横ばい)
評価	(状況) 事務事業の392成果指標の内、向上した指標が183、低下した指標が173、変化なし等が36となっている。 (原因) R4年度同様、参加者や利用者を指標としているものはコロナ前まで回復していないが、デジタル化関連の指標が向上しており庁内DXが進んでいるといえる。					対前年度
						(横ばい)
						目標達成度
						(中)

## 基本事業02 転入の促進と転出の抑制

指標	転入者数（外国人含む）（人）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【企画調整課】	2,012	2,557	2,365	2,400	(向上)
評価	(状況) 転入者は前年度と比較して減少した。（192人） (原因) 前年度技能実習生等の外国人の転入（入国）が大幅に増加したことによる反動と考える。					対前年度
						(低下)
						目標達成度
						(高)

### 基本事業02 転入の促進と転出の抑制

指標	転出者数（外国人含む）（人）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【企画調整課】	2,056	2,316	2,168	2,300	☔ (低下)
評価	(状況) 転出者は前年度と比較して減少した(148人)。 (原因) コロナ後の規制緩和により、昨年度国内外の異動が活発となったことの影響と考えられる。 過去の平均値に近い数値となっている					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

### 基本事業02 転入の促進と転出の抑制

指標	居注意欲度の県内順位（位）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【企画調整課】	9	16	9	6	☁ (横ばい)
評価	(状況) 全国順位は545位から392位へと上がった。 (原因) 順位の基準となる点数は、5.8点となり、前年度比+0.5ポイントとなったが、魅力度・認知度・情報接触度が低下している中で増加であり、これといった要因は見当たらない。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						■ (中)

### 基本事業03 広域連携の推進

指標	広域行政（連携）によって効率的かつ効果的にまちづくりが進められていると思う職員の割合（%）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【企画調整課】	30.6	25.7	32.8	40.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度より7.1pt向上。職種：事務職が7.5pt、消防職が13.6pt向上。年代：30歳代が9.6pt、40歳代が6.7pt向上。役職：管理職は0.6pt増、課長補佐・係長は8.6pt、係長未満は7.6pt向上。 (原因) 業務を進める中で、肌感覚として効果を感じた職員が増えたと思われるが、明確な原因は不明。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						■ (中)

### 基本事業03 広域連携の推進

指標	本市を含む地方公共団体の組合等で共同処理されている事務事業件数（件）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【企画調整課】	15	15	15	15	☁ (横ばい)
評価	(状況) 変化なし					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)



政策 07 持続可能なまちづくり

施策 05 持続可能な財政運営

あるべき姿

--

施策の成果状況と評価

指標	経常収支比率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【財政課】	87.6	88.7	91.1	92.0以下	☔ (低下)
評価	(状況) 前年度に比べて2.4ポイント低下したが、目標は達成できた。 (原因) 分母である経常収入のうち、臨時財政対策債が減少し、収入全体も減。分子の経常支出においては維持補修費や扶助費が増加したため、比率が上昇する結果となった。					対 前年度
						☔ (低下)
						🏰 (達成)

指標	実質公債費比率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【財政課】	8.4	8.5	8.5	9.0以下	☁️ (横ばい)
評価	【仮記載】 (状況) 前年度同様8.5%となった。 (原因) 令和5年度単年度の値は8.9%で令和4年度を上回ったが、実質公債費比率は3年間の平均で算出するため、今回平均値から外れる令和2年度単年度値と加わる令和5年度単年度値が同程度で、結果的に成果指標は前年度同水準となった。					対 前年度
						☁️ (横ばい)
						🏰 (達成)

指標	財政調整基金残高（億円）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【財政課】	22.9	25.0	25.1	20.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年度から1千万円増加した。 (原因) 基金の取り崩しは行っていない。債券運用等に係る利子収入について積み立てを行った。この結果、残高が若干増加となった。					対 前年度
						☁️ (横ばい)
						🏰 (達成)

指標	市の行政運営や税金の使い方に納得していない市民の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
	【財政課】	6.7	7.7	8.0	10.0	☔ (低下)
評価	(状況) 前年度から0.3pt低下 (原因) 回答総数はほぼ変わらない。実績値取得上の除外対象である「判断できない」数が減少。結果的に分母は増加。一方「納得できない」数も増加、対前年比で低下となった。目標は達成したものの、「納得できる」人の割合が減少しているため、推移を見守る必要がある。					対 前年度
						☔ (低下)
						🏰 (達成)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 税収等による財源確保

指標	市税収納率[現年度分](%) 【税務課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(R03)	(R04)	(R05)	(R08)	
		99.2	99.2	99.1	99.0	☔ (低下)
評価	(状況)前年度から微減 (原因)コロナウイルスは一定の落ち着きをみせたものの、物価高による経済への影響は予断を許さない状況にある。収納率に、大きな影響は見られていないが、今後については予測できない面もある。引き続き適正徴収に努め収納率を維持向上する必要がある。					対前年度
						☔ (低下)
						目標達成度 🏰 (達成)

## 基本事業01 税収等による財源確保

指標	ふるさと納税寄付額(億円) 【財政課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(R03)	(R04)	(R05)	(R08)	
		4.0	4.8	4.1	7.0	☁ (横ばい)
評価	(状況)制度改正に伴うかけこみ需要でR5.9月は前年比4倍の1.1億。10月以降低調で、12月は対前年比55%と大幅減。全体でも15%の4.1億円となった。 (原因)改正基準を遵守するため、主要な返礼品の寄付額を引き上げ。他自治体との比較で価格競争が生じ寄付額減となった。					対前年度
						☔ (低下)
						目標達成度 ■ (低)

## 基本事業01 税収等による財源確保

指標	資金運用による収益額(千円) 【出納室】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(R03)	(R04)	(R05)	(R08)	
		16,314		24,094	20,000	☀ (向上)
評価	(状況)計画達成 債券運用額は、合計36億円であり、令和5年度の運用収益(利子収入)は、24,094,752円となった。 (原因)債券の運用額が、R4年度28億円からR5年度36億円に増加したため。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度 🏰 (達成)

## 基本事業02 計画的な財政運営

指標	基礎的財政収支(億円) 【財政課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(R03)	(R04)	(R05)	(R08)	
		+5.8		-14.5	±0	☔ (低下)
評価	(状況)令和5年度は再編新設小学校整備事業に係る地方債借入額が26億あり、基礎的財政収支は14.5億となった。 (原因)一定規模の事業は、全体の調整により、基礎的財政収支を均衡させる必要がある。しかしながら、同事業費は全体で50億の大型事業で、地方債借入に頼らざるを得ない状況であった。					対前年度
						☔ (低下)
						目標達成度 ■ (低)

**基本事業02 計画的な財政運営**

指標	実質収支比率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【財政課】	15.5	11.8	14.4	3.0以上	☂ (低下)
評価	(状況) 昨年度にくらべ+2.6pt高くなった。 (原因) 増加している部分が、単年度での収入と支出の差となり、いわゆる単年度黒字の状況。歳入は堅持、歳出は執行率が低くなったことにより、収支がプラスになった。					対前年度
		☀ (向上)				
						目標達成度
						🏰 (達成)

**基本事業03 公共施設等のマネジメント推進**

指標	2026（令和8）年度までの施設(ハコモノ)の削減率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【財政課】	3.4	5.9	5.9	10.0	☀ (向上)
評価	(状況) 成果指標は前年度と変わらない15.9%となった。 (原因) 筑後南小学校建設に伴う除却は、令和6年度以降に予定されており、その他の施設においても除却等は行われてない。					対前年度
		☁ (横ばい)				
						目標達成度
						▬▬ (中)

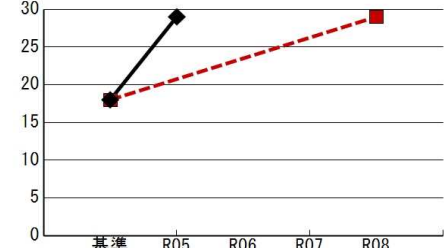

**基本事業03 公共施設等のマネジメント推進**

指標	建物更新計画策定率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【財政課】	83.9		78.9	100.0	☂ (低下)
評価	(状況) 個別施設計画の策定状況については前年度と同様だが策定率は 1.1ptとなった。 (原因) 令和5年度に、個別施設計画の改定等で、2つの計画が1つに統合される変動が生じた。従って、策定状況としては変動はないが、指標値が減少する結果となった。					対前年度
		☂ (低下)				
						目標達成度
						▬▬ (中)

**基本事業03 公共施設等のマネジメント推進**

指標	公共建築物長寿命化計画に基づく（中・大規模）改修達成率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
	【財政課】	100.0	95.2	89	80.0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 公共施設マネジメント委員会で認定した事業9件のうち、1件（筑後中学校長寿命化）のみ予算化に至らなかった。 (原因) 委員会では老朽化の状況を踏まえた認定であったが、市全体の財政状況に鑑み、併行する大規模事業が多すぎるとの判断にいたったもの。					対前年度
		☁ (横ばい)				
						目標達成度
						🏰 (達成)

**基本事業03 公共施設等のマネジメント推進**

指標	庁舎建設基金残高（億円）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【契約管財課】	18	28	29	29
評価	(状況) 令和5年度に108,827,115円の積立てを実施。基金残高は2,924,795,679円となった。 (原因) 毎年1億円の積立を目標としている。	(億円) 				対 前年度
						(横ばい) (比較不可) 目 標 達 成 度 (達成) 

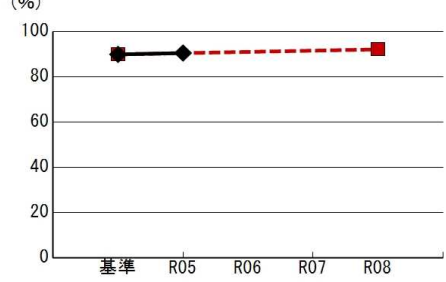




**政策 07 持続可能なまちづくり**

**施策 06 市民から信頼される職員・組織づくり**

あるべき姿

**施策の成果状況と評価**

指標	職員の仕事ぶりに満足している市民の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
		【市長公室】	89.8	87.5	90.4	92.0
評価	前年比2.9%上昇。概ね9割程度で推移している。不満と回答した理由として、制度に対する不満や行政サービスの提供手法に対する意見があった。また、一部の職員の接遇・対応に関する意見が見受けられたことから、これらが全体の評価に一定の影響を与えているものとする。					対 前年度
						 (向上)
						目 標 達 成 度
						 (高)

## 基本事業の成果状況と評価

### 基本事業01 効率的かつ機能的な組織づくり

指標	市の組織は効率的かつ機能的になっていると思う職員の割合（％） 【市長公室】	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
				79.7	70.2	72.7
評価	R4年度は市民生活部、R5年度は総務部が最も減少した。病休、育休者を多く抱える部署や給付金事務局の中核を担う部門で特に人員不足に対する思いが色濃く反映している可能性がある。					対 前年度

### 基本事業01 効率的かつ機能的な組織づくり

指標	人口1万人当たり職員数（類似団体の平均値に対する割合）（％） 【市長公室】	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
				64.6	65.4	65.7
評価	前年度とほぼ横ばいの状況。限られた財源で市の課題を解決していくため、所属を超えた応援体制や会計年度任用職員を活用しつつ、特に重点事業に対し最適な組織機構と人員配置を行った。					対 前年度

### 基本事業02 効果的な人材育成と適正な人事管理

指標	人材育成（諸施策）により職員の能力が向上していると思う職員の割合（％） 【市長公室】	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
				63.3	51.7	54.9
評価	前年度比3.2%上昇したが、2年連続で目標値を大きく下回っている。「(どちらかといえば)思わない」と回答した職員の意見では、前年度同様に能力向上に対する職員間での意識の差や時間的余裕が無いといったものが見受けられた。					対 前年度

### 基本事業02 効果的な人材育成と適正な人事管理

指標	職員全体の待遇が適切だと思う職員の割合（％） 【市長公室】	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対 基準値
				84.8	80.8	82.2
評価	前年度1.4%上昇。上昇したものの、依然としてあいさつができていない職員がいるなどの意見が見受けられ、一部の職員の応対・態度が低水準となった要因の一つと考えられる。 (参考) 自分自身の待遇ができていると思う職員の割合は、92.2%					対 前年度

**基本事業03 健康で安心して働ける職場づくり**

指標	年次有給休暇（5日未満）・超過勤務（月45時間・年360時間超）・公務災害に該当した職員数（人） 【市長公室】	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
				347	240	173
評価	年休取得5日未満：29人 時間外月45時間超：116人 時間外年360時間超：20人 公務災害：8人 新型コロナ関連事業やマイナンバー事業が落ち着き、前年に比べ、年休取得5日未満の職員数や長時間労働者数は減少した。一方、公務災害件数は増加した。職場での転倒事故や交通事故等が発生した。	(人) 				対前年度

**基本事業03 健康で安心して働ける職場づくり**

指標	法令遵守が徹底されている職場になっていると思う職員割合（％） 【市長公室】	基準値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	目標値 (R08)	対基準値
				87.9	87.7	88.5
評価	そう思わない職員の全体割合は10.9%であり、前年からは減少した。ただし、消防本部に限ると26.19%と全体より割合が高く複数年にわたって同様の傾向にある。引き続き、要因の特定及び改善を図る必要がある	(％) 				対前年度